

教育研究活動の状況

(令和元年度)

奈良学園大学

1. 大学の教育研究上の目的に関すること

学部	学科	教育研究上の目的
人間教育学部	・人間教育学科	「社会の中で一人の人間」として生き抜く力となる豊かな「人間力」を基盤とする、柔軟な「教育力」と高度な「実践力」を備えた「教育者」（広く社会の教育活動にかかわる人材）の養成を目的とする。
保健医療学部	・看護学科 ・リハビリテーション学科	幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力などをそなえ、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につけた質の高い保健医療職者の育成を目的とする。
大学院 看護学研究科	・看護学専攻	教育理念に基づき、在宅看護、育成看護、精神看護分野における専門性を深め、国内外で活躍することができる高度な看護実践者と看護の各分野における実践的教育の担い手及び研究者を育成することを目的とする。

2. 教育研究上の基本組織に関すること

令和元年5月1日現在
単位：(人)

学部・学科		専任教員数							
		学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計
人間教育学部	人間教育学科	1	1	17	10	9	0	0	38
保健医療学部	看護学科	0	0	9	4	7	7	5	32
	リハビリテーション学科	0	0	9	2	5	5	2	23
合計		1	1	35	16	21	12	7	93

大学院		専任教員数(兼担も含む)							
		学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計
看護学研究科	看護学専攻	0	0	8	4	1	1	0	14
合計		0	0	8	4	1	1	0	14

3. 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること ※教育研究業績書は別紙

<教員の保有学位及び業績> 令和元年5月1日現在

- 人間教育学部
 - ・人間教育学科 博士13名、修士14名、学士11名
- 保健医療学部
 - ・看護学科 博士8名、修士20名、学士3名、その他1名
 - ・リハビリテーション学科 博士15名、修士5名、学士3名

<教員の年齢構成>

令和元年5月1日現在
大学院の教員は学部を含む

学部		70歳以上	60歳～69歳	50歳～59歳	40歳～49歳	30歳～39歳	29歳以下	計
人間教育学部	男	2	6	6	4	5	0	23
	女	0	5	1	8	1	0	15
保健医療学部	男	0	4	5	5	8	2	24
	女	1	5	17	8	0	0	31
計 (人)		3	20	29	25	14	2	93

<教員の男女別構成>

専任教員の学部、研究科ごとの男女別の構成(うち外国人の数を含む)								
【人間教育学部】								
学部	職位	男性		女性		計		外国人 (内数)
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
人間教育学部	教授	13	68.4%	6	31.6%	19	100.0%	—
	准教授	5	50.0%	5	50.0%	10	100.0%	—
	講師	5	55.6%	4	44.4%	9	100.0%	1
	助教	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
	助手	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
人間教育学部 計		23	121.1%	15	78.9%	38	200.0%	—
【保健医療学部】								
学部	職位	男性		女性		計		外国人 (内数)
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
保健医療学部	教授	10	55.6%	8	44.4%	18	100.0%	—
	准教授	2	33.3%	4	66.7%	6	100.0%	—
	講師	6	50.0%	6	50.0%	12	100.0%	—
	助教	5	41.7%	7	58.3%	12	100.0%	—
	助手	1	14.3%	6	85.7%	7	100.0%	—
保健医療学部 計		24	133.3%	31	172.2%	55	305.6%	—

4. 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

大学等	学部・研究科等	入学者数 (R 1)	収容定員 (R 1)	在学者数 (R 1)	卒業者数 (H30)	進学者数 (H30)
奈良学園大学	人間教育学部	【入学に関する基本的な方針】 (1) 教職への意欲や関心があり、教育を通して社会の未来に貢献する意欲のある人 (2) 教育の専門家としての確かな力量を獲得するため、積極的に学び続ける意欲のある人 (3) 豊かな人間性や社会性、常識と教養をはじめ協調性や創造性を深める意欲がある人				
		135人	540人	522人	104人	2人
	保健医療学部	【入学に関する基本的な方針】 (1) 人と自然を愛する心を持ち、看護職に興味・関心のある人。また、確かな基礎的学力を有し、看護職者に必要な知識・技術を積極的に学び、地域社会、国際社会に貢献する意欲のある人				
		87人	400人	391人	86人	1人
	大学院看護学 研究科 (平成30年4月開設)	【入学に関する基本的な方針】 (1) 学修目標を明確にして主体的に学ぶことができる人 (2) ヒューマンケアを提供する看護職としての資質を有している人 (3) 国際的視野に立ち、柔軟な発想と論理的思考で課題を探究する姿勢をもっている人				
		4人	16人	10人	—	—
【就職者数及び卒業後の進路(主な就職分野〔具体的な就職先等〕)】 就職者数： 175人 【主な就職分野】 教育、医療、サービス、製造、小売・卸売、建設、情報通信、運輸、金融・保険、公務 【主な就職先】 人間教育学部：奈良県教育委員会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、愛知県教育委員会、神奈川県教育委員会、高知県教育委員会、東京都教育委員会、兵庫県教育委員会、横浜市教育委員会、香川県教育委員会、学校法人朝陽学院 あべの翔学高等学校附属朝陽幼稚園、(福)光栄寺福祉会諏訪保育園、(福)坪内宝珠会たまち保育園、大建工業(株)、東建コーポレーション(株)、(株)山口フィナンシャルグループ、アコム(株) (三菱UF Jフィ						

ナンシャル・グループ)、第一生命保険㈱、㈱トレジャー・ファクトリー、㈱すかいらーく、奈良県警察本部、大阪府警察本部、徳島県警察本部、熊本県警察本部、大阪州市役所、生駒市消防本部、和泉市消防本部 他
保健医療学部：奈良県立病院機構、奈良県立医科大学附属病院、関西医科大学附属病院、関西電力病院、大阪府立病院機構、住友病院、国立病院機構大阪南医療センター、国立病院機構奈良医療センター、奈良市立奈良病院、西奈良中央病院、大阪大学医学部附属病院、国立循環器病研究センター、大阪市立総合医療センター、東大阪市立東大阪医療センター、大阪医科大学附属病院、大阪市立大学医学部附属病院、虎の門病院 他

※編入学定員を設けていないが、若干名の受け入れを行っている

5. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

- 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画の概要は、シラバス及び履修の手引きを参照

①人間教育学部人間教育学科

【履修モデル】2019年度入学生

履修モデル① 幼稚園教諭一種免許状を取得する履修モデル

履修年次 区分	1年次 科目名		2年次 科目名		3年次 科目名		4年次 科目名		計	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
共通教育科目	基礎教養科目	英語Ⅰ 1 英語Ⅱ 1 英会話Ⅲ 1 小計 3	基礎Ⅱ 1 英会話Ⅲ 4 小計 5	英語Ⅰ 1 日本語Ⅱ 1 社会学 2 小計 4	スポーツ実践Ⅰ 1 社会学 2 小計 3					0 4
	共生教育科目	小計 1								0 0
	教員・国際科目	小計 1		英数学 2						0 2
	情報教養科目	情報機器の操作 2 小計 2		情報と分析 2						0 4
	キャリア形成科目	キャリアデザインⅠ 1 小計 1	キャリアデザインⅡ 1 小計 1	キャリアデザインロゼットⅠ 1 小計 1	キャリアデザインロゼットⅡ 1 小計 1	キャリアスキルアップⅠ 1 小計 1	キャリアスキルアップⅡ 1 小計 1			0 6
	共通教育科目合計		14		3					0 23
基礎科目	新入門A(2単位) 幼児理解 1 保育内容論 2 子どもの発達 1 子どもと音楽 1 *人間教育学 2 子どもと表現(音楽) 2	新入門B(2単位) 幼児理解 1 保育内容論 2 子どもの発達 1 子どもと音楽 1 *人間教育学 2 子どもと表現(音楽) 2	英語・教育心理学A(2単位) 2 教育心理学A(2単位) 2 教育心理学A(2単位) 2 教育と日本の伝統文化(専修) 2 音楽実習Ⅰ(鍵盤楽器) 2 社会福祉(保) 2 保育実習(保) 2 食の心理 1	教育心理学A(2単位) 2 教育と日本の伝統文化(専修) 2 音楽実習Ⅱ(鍵盤楽器) 2 社会福祉(保) 2 保育実習(保) 2 保育の計画と評価(保) 1 食の心理 1						
	基礎科目合計	25	25	22						0 44
	教育実習科目	教育実習Ⅰ(4単位) 1 人間教育実務力開発実習Ⅰ(1単位) 1	教育実習Ⅱ(4単位) 1 人間教育実務力開発実習Ⅱ(1単位) 1	子どもと健康の指導法 2 子どもと人間関係の指導法 2	幼児教育相談支援 2 子どもと健康の指導法 1 子どもと音楽の指導法 1 現代教育課題の特別支援 2 現代教育課題の特別支援 2	教育方法・技術論A(初等) 2 特別支援(初等) 1(4単位) 子どもと音楽の指導法 2 音楽・歌謡の指導法 2 現代教育課題の特別支援 2 現代教育課題の特別支援 2 現代教育課題(学校)に於ける異文化理解 1				
専門科目合計		3	7	7	22					0 39
履修科目合計		31	31	31	31					0 124
関連科目										0 0
合計		45	45	45	45					0 124

*卒業単位数
*CAP制 年間履修単位の上限 45単位
【共通教育科目】から必修科目8単位を含む24単位以上
【専門科目】基礎科目から32単位以上、基礎科目から47単位以上、演習実習科目から19単位以上
【共通教育科目】と【専門科目】の合計124単位以上とする。

教育職員免許法施行規則(46条)に定められた科目
領域及び保育内容の指導法(必修)
教育の基礎的知識に関する科目等(必修)
*赤字 本学部卒業必修科目

履修モデル① 幼稚園教諭一種免許状を取得する履修モデル

履修年次 区分	1年次 科目名		2年次 科目名		3年次 科目名		4年次 科目名		計	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
共通教育科目	基礎教養科目	英語Ⅰ 1 英語Ⅱ 1 英会話Ⅲ 1 小計 3	基礎Ⅱ 1 英会話Ⅲ 4 小計 5	英語Ⅰ 1 日本語Ⅱ 1 社会学 2 小計 4	スポーツ実践Ⅰ 1 社会学 2 小計 3					0 4
	共生教育科目	小計 1								0 0
	教員・国際科目	小計 1		英数学 2						0 2
	情報教養科目	情報機器の操作 2 小計 2		情報と分析 2						0 4
	キャリア形成科目	キャリアデザインⅠ 1 小計 1	キャリアデザインⅡ 1 小計 1	キャリアデザインロゼットⅠ 1 小計 1	キャリアデザインロゼットⅡ 1 小計 1	キャリアスキルアップⅠ 1 小計 1	キャリアスキルアップⅡ 1 小計 1			0 6
	共通教育科目合計		14		3					0 23
基礎科目	新入門A(2単位) 幼児理解 1 保育内容論 2 子どもの発達 1 子どもと音楽 1 *人間教育学 2 子どもと表現(音楽) 2	新入門B(2単位) 幼児理解 1 保育内容論 2 子どもの発達 1 子どもと音楽 1 *人間教育学 2 子どもと表現(音楽) 2	英語・教育心理学A(2単位) 2 教育心理学A(2単位) 2 教育心理学A(2単位) 2 教育と日本の伝統文化(専修) 2 音楽実習Ⅰ(鍵盤楽器) 2 社会福祉(保) 2 保育実習(保) 2 食の心理 1	教育心理学A(2単位) 2 教育と日本の伝統文化(専修) 2 音楽実習Ⅱ(鍵盤楽器) 2 社会福祉(保) 2 保育実習(保) 2 保育の計画と評価(保) 1 食の心理 1						
	基礎科目合計	25	25	22						0 44
	教育実習科目	教育実習Ⅰ(4単位) 1 人間教育実務力開発実習Ⅰ(1単位) 1	教育実習Ⅱ(4単位) 1 人間教育実務力開発実習Ⅱ(1単位) 1	子どもと健康の指導法 2 子どもと人間関係の指導法 2	幼児教育相談支援 2 子どもと健康の指導法 1 子どもと音楽の指導法 1 現代教育課題の特別支援 2 現代教育課題の特別支援 2	教育方法・技術論A(初等) 2 特別支援(初等) 1(4単位) 子どもと音楽の指導法 2 音楽・歌謡の指導法 2 現代教育課題の特別支援 2 現代教育課題の特別支援 2 現代教育課題(学校)に於ける異文化理解 1				
専門科目合計		3	7	7	22					0 39
履修科目合計		31	31	31	31					0 124
関連科目										0 0
合計		45	45	45	45					0 124

*卒業単位数
*CAP制 年間履修単位の上限 45単位
【共通教育科目】から必修科目8単位を含む24単位以上
【専門科目】基礎科目から32単位以上、基礎科目から47単位以上、演習実習科目から19単位以上
【共通教育科目】と【専門科目】の合計124単位以上とする。

教育職員免許法施行規則(46条)に定められた科目
領域及び保育内容の指導法(必修)
教育の基礎的知識に関する科目等(必修)
*赤字 本学部卒業必修科目

履修モデル①：幼稚園教諭一種免許状を取得する履修モデル

履修年次	1年次		2年次		3年次		4年次		計	
	区分	科目名	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
共通教育科目	基礎教養科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ							
		英会話Ⅰ	英会話Ⅱ							
	小計								4	
	体育	日本舞踊法	スポーツ実践Ⅰ							
	健康スポーツ(理論)	健康スポーツ(実技)	社会学							
	小計								3	
共生教育科目									0	
教員・関係科目				教育心理学					0	
情報教養科目		情報機器の操作		情報と分析					2	
キャリア形成科目		キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅡ	キャリアデザインロゼットⅠ	キャリアデザインロゼットⅡ	キャリアスキルアップⅠ	キャリアスキルアップⅡ		4	
小計									2	
共通教育科目合計									23	
専門科目	基礎科目	新職入門A(必修)	教育実習A(必修)	英語-教育心理学A(必修)	教育社会学A(必修)(高専)					
		幼児概論	幼児教育課程概論	教育行政学A(必修)(高専)	教育と日本の伝統文化(専修)					
		保育内容総論	子どもと発達	教育実習Ⅰ(調整必修)	教育実習Ⅱ(調整必修)					
		子どもと環境	子どもと人間関係	社会福祉(保)	保育倫理(保)					
		子どもと健康	子どもと教育(特選)	保育管理(保)	保育の計画と評価(保)					
	★人間教育学	子どもと芸術(理工)		食の心理						
	★人間教育学	子どもと芸術(音楽)								
	基礎科目合計									48
	発展科目	教職実践力演習Ⅰ	教職実践力演習Ⅱ							
		人間教育実践力開発演習Ⅰ(1年)	人間教育実践力開発演習Ⅱ(2年)	子どもと健康の指導法	子どもと人間関係の指導法	幼児教育相談支援	教育方法-技術論A(必修)	特別支援(必修)(高専)	子どもと発達の指導法	子どもと発達の指導法
発展科目合計									22	
演習実習科目	教育実習Ⅰ(4回)	教育実習Ⅱ(4回)			教育実習事前(奉送勤務(高専))			情報実践演習(4回-高)		
	★基礎ゼミナールⅠ(1年次)	★基礎ゼミナールⅡ(2年次)			人間教育ゼミナールⅠ(高専)	人間教育ゼミナールⅡ(高専)				
演習実習科目合計									22	
専門科目合計									70	
履修科目合計									93	

★卒業単位数
 *CAP制 年間履修単位の上限 45単位
 【共通教育科目】から必修科目8単位を含む23単位以上
 【専門科目】基礎科目から32単位以上、発展科目から47単位以上、演習実習科目から19単位以上
 【共通教育科目】と【専門科目】の合計424単位以上とする。

教育職員免許法施行規則(46条の6)に定められた科目
 領域及び保育内容の指導法(必修)
 教育の基礎的理論に関する科目等(必修)
 ★赤字
 本学部卒業必修科目

履修モデル①：幼稚園教諭一種免許状を取得する履修モデル

履修年次	1年次		2年次		3年次		4年次		計	
	区分	科目名	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
共通教育科目	基礎教養科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ							
		英会話Ⅰ	英会話Ⅱ							
	小計								4	
	体育	日本舞踊法	スポーツ実践Ⅰ							
	健康スポーツ(理論)	健康スポーツ(実技)	社会学							
	小計								3	
共生教育科目									0	
教員・関係科目				教育心理学					0	
情報教養科目		情報機器の操作		情報と分析					2	
キャリア形成科目		キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅡ	キャリアデザインロゼットⅠ	キャリアデザインロゼットⅡ	キャリアスキルアップⅠ	キャリアスキルアップⅡ		4	
小計									2	
共通教育科目合計									23	
専門科目	基礎科目	新職入門A(必修)	教育実習A(必修)	英語-教育心理学A(必修)	教育社会学A(必修)(高専)					
		幼児概論	幼児教育課程概論	教育行政学A(必修)(高専)	教育と日本の伝統文化(専修)					
		保育内容総論	子どもと発達	教育実習Ⅰ(調整必修)	教育実習Ⅱ(調整必修)					
		子どもと環境	子どもと人間関係	社会福祉(保)	保育倫理(保)					
		子どもと健康	子どもと教育(特選)	保育管理(保)	保育の計画と評価(保)					
	★人間教育学	子どもと芸術(理工)		食の心理						
	★人間教育学	子どもと芸術(音楽)								
	基礎科目合計									48
	発展科目	教職実践力演習Ⅰ	教職実践力演習Ⅱ							
		人間教育実践力開発演習Ⅰ(1年)	人間教育実践力開発演習Ⅱ(2年)	子どもと健康の指導法	子どもと人間関係の指導法	幼児教育相談支援	教育方法-技術論A(必修)	特別支援(必修)(高専)	子どもと発達の指導法	子どもと発達の指導法
発展科目合計									22	
演習実習科目	教育実習Ⅰ(4回)	教育実習Ⅱ(4回)			教育実習事前(奉送勤務(高専))			情報実践演習(4回-高)		
	★基礎ゼミナールⅠ(1年次)	★基礎ゼミナールⅡ(2年次)			人間教育ゼミナールⅠ(高専)	人間教育ゼミナールⅡ(高専)				
演習実習科目合計									22	
専門科目合計									70	
履修科目合計									93	

★卒業単位数
 *CAP制 年間履修単位の上限 45単位
 【共通教育科目】から必修科目8単位を含む23単位以上
 【専門科目】基礎科目から32単位以上、発展科目から47単位以上、演習実習科目から19単位以上
 【共通教育科目】と【専門科目】の合計424単位以上とする。

教育職員免許法施行規則(46条の6)に定められた科目
 領域及び保育内容の指導法(必修)
 教育の基礎的理論に関する科目等(必修)
 ★赤字
 本学部卒業必修科目

履修モデル① 幼稚園教諭一種免許状を取得する履修モデル

履修年次	1年次		2年次		3年次		4年次		計	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
区分	科目名		科目名		科目名		科目名			
共通教育科目	基礎教養科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ							
		英会話Ⅰ	英会話Ⅱ							
		大学	日→英語法	英語実践Ⅰ						
		英語コミュニケーション(理論)	英語コミュニケーション(実践)	社会学						
	小計	4	4	0	0	0	0	0	8	
	社会教育科目	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
		教育・国際科目	小計	0	0	0	0	0	0	0
	情報教養科目	情報通信の活用		情報と分析						
		小計	2	2	2	2	0	0	0	4
	キャリア形成科目	キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅡ	キャリアデザインベロップメントⅠ	キャリアデザインベロップメントⅡ	キャリアスキルアップⅠ	キャリアスキルアップⅡ			
小計		2	2	2	2	2	2	2	8	
共通教育科目合計	14	14	0	0	2	2	2	2	20	
専門科目	基礎科目	新卒入門A(必修)	教育実習A(必修)	英語-教育心理学A(必修)	教育心理学A(必修)(英訳)					
		幼児概論	幼児教育課程概論	教育行政学A(必修)(英訳)	教育と日本の伝統文化(英訳)					
		保育内容論	子どもと発達	教育実習Ⅰ(調整必修)	教育実習Ⅱ(調整必修)					
		子どもと環境	子どもと人間関係	社会福祉(保)	保育実論(保)					
		子どもと健康	子どもと教育(特選)	保育原理(保)	保育の計画と評価(保)					
		★人間教育学	子どもと芸術(特選)	子どもの心						
	基礎科目合計	20	22	0	0	0	0	0	42	
	発展科目	教育実践力演習Ⅰ	教育実践力演習Ⅱ							
		小計	2	2	0	0	0	0	0	4
	演習実習科目	教育実習Ⅰ(4回)	教育実習Ⅱ(4回)	教育実習Ⅲ(4回)	教育実習Ⅳ(4回)	教育実習Ⅴ(4回)	教育実習Ⅵ(4回)	教育実習Ⅶ(4回)	教育実習Ⅷ(4回)	
小計		4	4	4	4	4	4	4	28	
専門科目合計	26	28	4	4	4	4	4	4	68	
履修科目合計	40	42	4	4	6	6	6	6	88	

★卒業最終単位数 【共通教育科目】から必修科目8単位を含む20単位以上
 ★CAP制 年間履修単位の上限 45単位 【専門科目】基礎科目から32単位以上、発展科目から47単位以上、演習実習科目から19単位以上
 【共通教育科目】と【専門科目】の合計424単位以上とする。

教育職員免許法施行規則(46条の6)に定められた科目
 領域及び教育内容の指導法(必修)
 教育の基礎的理論に関する科目等(必修)
 ★赤字 本学卒業必修科目

【人間教育学科カリキュラム表 H31 年度】

人間教育学部 人間教育学科 人間教育学専攻													
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			資格要件に関する科目				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	幼稚園	小学校	中国語	高国語	
基礎 教養 科目	英語 I	1・2・3・4前		1		○							
	英語 II	1・2・3・4後		1		○							
	英会話 I	1・2・3・4前	1				○		●	●	●	●	
	英会話 II	1・2・3・4後	1				○		●	●	●	●	
	中国語基礎 I	1・2・3・4前		1		○							
	中国語基礎 II	1・2・3・4後		1		○							
	中国語会話	1・2・3・4後		1			○						
	スペイン語基礎 I	1・2・3・4前		1		○							
	スペイン語基礎 II	1・2・3・4後		1		○							
	スペイン語会話	1・2・3・4後		1			○						
	日本語 I	1・2・3・4前		1		○							
	日本語 II	1・2・3・4後		1		○							
	日本語表現 I	1・2・3・4前		1			○						
	日本語表現 II	1・2・3・4後		1			○						
	日本語表現 III	1・2・3・4前		1			○						
	日本語表現 IV	1・2・3・4後		1			○						
	文学	1・2・3・4前		2		○						●	●
	哲学	1・2・3・4後		2		○							
	倫理学	1・2・3・4後		2		○							
	心理学	1・2・3・4後		2		○							
	行動の科学	1・2・3・4前		2		○							
	文化人類学	1・2・3・4前		2		○							
	音楽の世界	1・2・3・4前		2		○							
	社会学	1・2・3・4前		2		○							
	日本国憲法	1・2・3・4後	2			○				●	●	●	●
	歴史学	1・2・3・4前		2		○							
	地理学	1・2・3・4前		2		○							
	数学の世界	1・2・3・4前		2		○							
	自然科学の基礎	1・2・3・4後		2		○							
	環境化学の基礎	1・2・3・4前		2		○							
	健康スポーツ(理論)	1・2・3・4前	1			○				●	●	●	●
	健康スポーツ(実技)	1・2・3・4後	1					○		●	●	●	●
	スポーツ実技 I	1・2・3・4前		1				○					
スポーツ実技 II	1・2・3・4後		1				○						
共 生 目 教 養	共生と社会	1・2・3・4前		2		○							
	人権論	1・2・3・4後		2		○							
	ボランティア活動	1・2・3・4後		2		○							
	生活と環境	1・2・3・4前		2		○							
国 奈 良 学 ・ 国 際 事 情	奈良学	1・2・3・4後		2		○							
	異文化コミュニケーション	1・2・3・4前		2		○							
	国際事情	1・2・3・4前		2		○							
情 報 教 養 科 目	情報機器の操作	1・2・3・4前	2			○				●	●	●	●
	情報倫理とセキュリティ	1・2・3・4後		2		○							
	データの世界	1・2・3・4後		2		○							
	CGの基礎と演習	1・2・3・4前		2		○							
	情報と分析	1・2・3・4前		2		○							
キ ャ リ ア 形 成 科 目	キャリアデザイン I	1前		1			○						
	キャリアデザイン II	1後		1			○						
	キャリアディベロップメント I	2前		1			○						
	キャリアディベロップメント II	2後		1			○						
	キャリアスキルアップ I	3前		1			○						
	キャリアスキルアップ II	3後		1			○						
	インターンシップ	3後		2				○					
共通教育科目小計 (53科目)			-	8	72	0		-				-	

専門科目	演習実習科目	保育所実習Ⅰ	3前	2			○														
		保育所実習指導Ⅰ	3前	1			○														
		施設実習Ⅰ	2後	2				○													
		施設実習指導Ⅰ	2後	1			○														
		保育所実習Ⅱ	3後	2				○													
		保育所実習指導Ⅱ	3後	1			○														
		施設実習Ⅱ	4後	2				○													
		施設実習指導Ⅱ	4後	1			○														
		教育実習事前事後指導(幼)	3通年	1			○			●											
		教育実習Ⅰ(幼)	3前	2				○		●											
		教育実習Ⅱ(幼)	3前	2				○		●											
		教育実習事前事後指導(小)	3通年	1			○				●										
		教育実習Ⅰ(小)	3前	2				○			●										
		教育実習Ⅱ(小)	3前	2				○			●										
		教育実習事前事後指導(中・高)	3通年	1			○					●	●								
		教育実習Ⅰ(中・高)	3前	2				○				●	●								
		教育実習Ⅱ(中)	3前	2				○				●	○								
		保育実践演習	4後	2				○													
		教職実践演習(幼・小)	4後	2				○		●	●										
		教職実践演習(中・高)	4後	2				○					●	●							
小計(20科目)		—	0	33	0		—														
専門科目	演習実習科目	基礎ゼミナールⅠ	1通年	2			○														
		基礎ゼミナールⅡ	2通年	2			○														
		人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	3通年	4			○														
		人間教育学ゼミナールⅡ(応用)	4通年	4			○														
		卒業研究	4後	4			○														
		小計(5科目)		—	12	4	0		—												
		演習実習科目小計(25科目)			12	37	0		—												
専門科目小計(小計145科目)			14	268	0		—														
関連科目	論学校図書館司書教	学校経営と学校図書館	4後	2		○															
		学校図書館メディアの構成	4前	2		○															
		学習指導と学校図書館	4前	2		○															
		読書と豊かな人間性	4後	2		○															
		情報メディアの活用	4前	2		○															
	日本語教師資格	言語学概論	4前	2		○															
		社会言語学	3前	2		○															
		日本事情	3前	2		○															
		日本語教育入門	3後	2		○															
		日本語教育指導法・教材研究	4前	2		○															
		日本語教育実習事前事後指導	4前	1			○														
		日本語教育実習(国内又は海外)	4前	2				○													
関連科目小計(12科目)		—	0	23	0		—														
合計(210科目)				—	22	363	0		—												

註1：下記「教育実践実習」区分の授業科目①～③のいずれかを選択必修科目とする。

- ① 教育実習事前事後指導(幼)、教育実習Ⅰ(幼)、教育実習Ⅱ(幼)、教職実践演習(幼・小)
- ② 教育実習事前事後指導(小)、教育実習Ⅰ(小)、教育実習Ⅱ(小)、教職実践演習(幼・小)
- ③ 教育実習事前事後指導(中・高)、教育実習Ⅰ(中・高)、教育実習Ⅱ(中)、教職実践演習(中・高)

人間教育学部 人間教育学科 中等(数学・音楽)専攻

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			資格要件に関する科目				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	中数学	高数学	中音楽	高音楽	
基礎 教養 科目	英語Ⅰ	1・2・3・4前		1		○							
	英語Ⅱ	1・2・3・4後		1		○							
	英会話Ⅰ	1・2・3・4前	1				○		●	●	●	●	
	英会話Ⅱ	1・2・3・4後	1				○		●	●	●	●	
	中国語基礎Ⅰ	1・2・3・4前		1		○							
	中国語基礎Ⅱ	1・2・3・4後		1		○							
	中国語会話	1・2・3・4後		1			○						
	スペイン語基礎Ⅰ	1・2・3・4前		1		○							
	スペイン語基礎Ⅱ	1・2・3・4後		1		○							
	スペイン語会話	1・2・3・4後		1			○						
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前		1		○							
	日本語Ⅱ	1・2・3・4後		1		○							
	日本語表現Ⅰ	1・2・3・4前		1			○						
	日本語表現Ⅱ	1・2・3・4後		1			○						
	日本語表現Ⅲ	1・2・3・4前		1			○						
	日本語表現Ⅳ	1・2・3・4後		1			○						
	文学	1・2・3・4前		2		○							
	哲学	1・2・3・4後		2		○							
	倫理学	1・2・3・4後		2		○							
	心理学	1・2・3・4後		2		○							
	行動の科学	1・2・3・4前		2		○							
	文化人類学	1・2・3・4前		2		○							
	音楽の世界	1・2・3・4前		2		○							
	社会学	1・2・3・4前		2		○							
	日本国憲法	1・2・3・4後		2		○				●	●	●	●
	歴史学	1・2・3・4前		2		○							
	地理学	1・2・3・4前		2		○							
	数学の世界	1・2・3・4前		2		○							
	自然科学の基礎	1・2・3・4後		2		○							
	環境化学の基礎	1・2・3・4前		2		○							
	健康スポーツ(理論)	1・2・3・4前		1		○				●	●	●	●
	健康スポーツ(実技)	1・2・3・4後		1				○		●	●	●	●
	スポーツ実技Ⅰ	1・2・3・4前			1			○					
スポーツ実技Ⅱ	1・2・3・4後			1			○						
共生 科目 教養	共生と社会	1・2・3・4前		2		○							
	人権論	1・2・3・4後		2		○							
	ボランティア活動	1・2・3・4後		2		○							
	生活と環境	1・2・3・4前		2		○							
国際 良 科・	奈良学	1・2・3・4後		2		○							
	異文化コミュニケーション	1・2・3・4前		2		○							
	国際事情	1・2・3・4前		2		○							
情報 教養 科目	情報機器の操作	1・2・3・4前	2			○			●	●	●	●	
	情報倫理とセキュリティ	1・2・3・4後		2		○							
	データの世界	1・2・3・4後		2		○							
	CGの基礎と演習	1・2・3・4前		2		○							
	情報と分析	1・2・3・4前		2		○							
キャ リア ア 形 成 科 目	キャリアデザインⅠ	1前		1			○						
	キャリアデザインⅡ	1後		1			○						
	キャリアディベロップメントⅠ	2前		1			○						
	キャリアディベロップメントⅡ	2後		1			○						
	キャリアスキルアップⅠ	3前		1			○						
	キャリアスキルアップⅡ	3後		1			○						
	インターンシップ	3後		2				○					
共通教育科目小計 (53科目)			-	8	72	0	-						

基礎科目	教育学の基礎に関する理解	発達・教育心理学B (中等)	2前	2	○	●	●	●	●	
		教育行政学B (中等)	2前	2	○	◎	◎	◎	◎	
		教育社会学B (中等)	2後	2	○	◎	◎	◎	◎	
		教職入門B (中等)	1前	2	○	●	●	●	●	
		教育原理B (中等)	1後	2	○	●	●	●	●	
		数の理解	1後	2	○					
		音楽の理解	1前	2	○					
		器楽演習 I (鍵盤楽器)	1前	2	○					
		器楽演習 II (鍵盤楽器)	2後	2	○					
		食の心理	2後	2	○					
		代数学基礎	1後	2	○	●	●			
		解析学基礎	1後	2	○	●	●			
		コンピュータ基礎	1後	2	○	●	●			
		代数学A (線形写像)	2前	2	○	●	●			
		幾何学基礎	2前	2	○	●	●			
		解析学A (テーラー展開)	2前	2	○	●	●			
		確率・統計基礎	2前	2	○	●	●			
		代数学B (群論)	2後	2	○	●	●			
		幾何学A (集合と位相)	2後	2	○	●	●			
		解析学B (複素関数)	2後	2	○	●	●			
		コンピュータA (アルゴリズム論)	2後	2	○	●	●			
		楽典	1後	2	○			●	●	
		ソルフェージュ I	2前	1	○			●	●	
		ソルフェージュ II	2後	1	○			●	●	
		キーボードハーモニー I	3前	1	○			●	●	
		キーボードハーモニー II	3後	1	○			●	●	
		音楽表現 I A (ピアノ・歌)	1通年	2	○			○	○	
		音楽表現 I B (リズム&ダンス)	1通年	2	○			○	○	
		音楽表現 II A (ピアノ・歌)	2通年	2	○			○	○	
		音楽表現 II B (リズム&ダンス)	2通年	2	○			○	○	
		小計 (30科目)		0	56	0	-	-	-	
		人間教育に関する理解の基礎	人間教育学	1前	2	○				
			教育と日本の伝統文化	2後	2	○				
			英米文学	2後	2	○				
			数学入門	1前	2	○				
			西洋の音楽史と理論	2前	2	○			●	●
諸民族の音楽 (日本伝統音楽を含む)	2後		2	○			●	●		
小計 (6科目)		2	10	0	-	-	-			
基礎科目小計 (36科目)			2	66	0	-	-	-		
発展科目	現代教育に関する理解	現代教育課題A (不登校・いじめ)	3前	2	○					
		現代教育課題B (特別支援)	3前	2	○					
		現代教育課題C (学校と安全)	3後	2	○					
		現代教育課題D (学校における異文化理解)	3後	2	○					
		教育相談の理論と方法B (中等)	3後	2	○			●	●	
		小計 (5科目)		0	10	0	-	-	-	
	教育実践の理解	特別支援B (中等)	3後	2	○	●	●	●	●	
		教育課程論B (中等)	3前	2	○	●	●	●	●	
		道徳教育の指導法B (中等)	3後	2	○	●	○	●	○	
		教育方法・技術論B (中等)	3後	2	○	●	●	●	●	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法B (中等)	3後	2	○	●	●	●	●	
		生徒指導・進路指導論B (中等)	2前	2	○	●	●	●	●	
		代数学I (数論)	3前	2	○	○	○			
		幾何学B (位相空間)	3前	2	○	○	○			
		確率・統計応用	3前	2	○	●	●			
教育実践の理解	代数学II (環と体)	3後	2	○	○	○				
	解析学I (ルベーグ積分)	3後	2	○	○	○				
	コンピュータB (統計データ分析)	3前	2	○	●	●				
	応用数学I (位相幾何)	4前	2	○	○	○				
	解析学II (関数解析)	4前	2	○	○	○				
	応用数学II (応用代数学)	4後	2	○	○	○				
教育実践の理解	応用数学III (微分方程式)	4後	2	○	○	○				
	数学科教育法I	2後	2	○	●	●				
	数学科教育法II	3前	2	○	●	●				
	数学科教育法III	3後	2	○	●	○				
	数学科教育法IV	4前	2	○	●	○				

専門科目	発展科目	合唱Ⅰ	2前	1		○				●	●			
		合唱Ⅱ	2後	1		○				●	●			
		器楽演習ⅠA(ピアノ)	3前	1		○				○	○			
		器楽演習ⅠB(管打)	3前	1		○				○	○			
		身体表現演習Ⅰ	3前	1		○				○	○			
		声楽実技Ⅰ(日本伝統歌唱を含む)	3前	1		○				○	○			
		器楽演習ⅡA(ピアノ)	3後	1		○				○	○			
		器楽演習ⅡB(管打)	3後	1		○				○	○			
		身体表現演習Ⅱ	3後	1		○				○	○			
		声楽実技Ⅱ(日本伝統歌唱を含む)	3後	1		○				○	○			
		器楽特殊演習ⅠA(ピアノ)	4前	1		○				○	○			
		器楽特殊演習ⅠB(管打)	4前	1		○				○	○			
		身体表現特殊演習Ⅰ	4前	1		○				○	○			
		声楽演奏法演習Ⅰ	4前	1		○				○	○			
		器楽特殊演習ⅡA(ピアノ)	4後	1		○				○	○			
		器楽特殊演習ⅡB(管打)	4後	1		○				○	○			
		身体表現特殊演習Ⅱ	4後	1		○				○	○			
		声楽演奏法演習Ⅱ	4後	1		○				○	○			
		器楽合奏Ⅰ(和楽器を含む)	1通年	2		○				●	●			
		器楽合奏Ⅱ	2通年	2		○								
		器楽合奏Ⅲ	3通年	2		○								
		器楽合奏Ⅳ	4通年	2		○								
		指揮法	3前	2		○				●	●			
		作曲法基礎(編曲法を含む)	4前	2		○								
		作曲法応用(編曲法を含む)	4後	1		○								
		音楽科教育法Ⅰ	2後	2		○				●	●			
		音楽科教育法Ⅱ	3前	2		○				●	●			
		音楽科教育法Ⅲ	3後	2		○				●	○			
		音楽科教育法Ⅳ	4前	2		○				●	○			
		小計(49科目)	—	0	77	0	—	—	—	—	—			
		リア教職形成	教職表現力演習Ⅰ	1通年	1		○							
			教職表現力演習Ⅱ	2通年	1		○							
			小計(2科目)	—	0	2	0	—	—	—	—			
			発展科目小計(55科目)	—	0	89	0	—	—	—	—			
		演習実習科目	教育実践実習	教育実習事前事後指導(中・高)	3通年	1		○			●	●	●	●
				教育実習Ⅰ(中・高)	3前	2			○		●	●	●	●
				教育実習Ⅱ(中)	3前	2			○		●	○	●	○
				教職実践演習(中・高)	4後	2			○		●	●	●	●
				小計(4科目)	—	7	0	0	—	—	—	—		
			ゼミナール	基礎ゼミナールⅠ	1通年	2			○					
				基礎ゼミナールⅡ	2通年	2			○					
				人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	3通年	4			○					
				人間教育学ゼミナールⅡ(応用)	4通年	4			○					
				卒業研究	4後	4			○					
		小計(5科目)	—	12	4	0	—	—	—	—				
		演習実習科目小計(9科目)	—	19	4	0	—	—	—	—				
		専門科目小計(小計102科目)	—	21	159	0	—	—	—	—				
		関連科目	学校図書館司書	学校経営と学校図書館	4後	2		○						
				学校図書館メディアの構成	4前	2		○						
学習指導と学校図書館	4前			2		○								
読書と豊かな人間性	4後			2		○								
日本語教師資格	情報メディアの活用		4前	2		○								
	言語学概論		4前	2		○								
	社会言語学		3後	2		○								
	日本事情		3前	2		○								
	日本語教育入門		3後	2		○								
	日本語教育指導法・教材研究		4前	2		○								
日本語教育実習事前事後指導	4前	1				○								
日本語教育実習(国内又は海外)	4前	2				○								
関連科目小計(12科目)	—	0	23	0	—	—	—	—						
合計(166科目)	—	29	254	0	—	—	—	—						
「資格要件科目」欄の「●」は免許必修科目、「◎」は免許選択必修科目、「○」は免許選択科目を表す。														
註 声楽実技Ⅰ(日本伝統歌唱を含む)、器楽演習ⅠA(ピアノ)、器楽演習ⅠB(管打)の3科目から最低1科目1単位選択必修														
註 声楽実技Ⅱ(日本伝統歌唱を含む)、器楽演習ⅡA(ピアノ)、器楽演習ⅡB(管打)の3科目から最低1科目1単位選択必修														
註 声楽演奏法演習Ⅰ、器楽特殊演習ⅠA(ピアノ)、器楽特殊演習ⅠB(管打)の3科目から最低1科目1単位選択必修														
註 声楽演奏法演習Ⅱ、器楽特殊演習ⅡA(ピアノ)、器楽特殊演習ⅡB(管打)の3科目から最低1科目1単位選択必修														

●幼一種免許取得するために必要な領域及び保育内容の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する 開設授業科目	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			必修	選択	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	子どもと健康	2		
		人間関係	子どもと人間関係	2		
		環境	子どもと環境	2		
		言葉	子どもと言葉	2		
		表現	子どもと表現 (体育)	2		
			子どもと表現 (図工)	2		
	子どもと表現 (音楽)		2			
領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		保育内容総論	2			

●幼一種免を取得するために必要な領域及び保育内容の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する 開設授業科目	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項			必修	選択	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	子どもと健康の指導法	2			
		子どもと人間関係の指導法	2			
		子どもと環境の指導法	2			
		子どもと言葉の指導法	2			
		子どもと表現の指導法	2			

●幼一種免を取得するために必要な教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する 開設授業科目	単位数		備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数		必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理A (初等)	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門A (初等)	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政学A (初等) 教育社会学A (初等)	2 2		左記2科目から1科目選択必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達・教育心理学A (初等)	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援A (初等)	2		
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		幼児教育課程総論	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育方法・技術論A (初等)	2		
	幼児理解の理論及び方法		幼児理解	2		
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法		幼児教育相談支援	2		
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前事後指導 (幼)	1		
			教育実習 I (幼)	2		
			教育実習 II (幼)	2		
	学校体験活動					
教職実践演習	2	教職実践演習 (幼・小)	2			

●幼一種免を取得するために必要な大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
大学が独自に設定する科目	上記領域及び保育内容の指導法に関する科目、 教育の基礎的理解に関する科目等		14	

最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて14単位以上を修得

●小一種免を取得するために必要な教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する 開設授業科目	単位数		備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	言語の理解 2	書写演習（小） 2		
		社会	社会の理解 2			
		算数	数の理解 2			
		理科	自然の理解 2			
		生活	生活の理解 2			
		音楽	音楽の理解 2			
			器楽演習Ⅰ（鍵盤楽器） 2		2	
			器楽演習Ⅱ（鍵盤楽器） 2		2	
		図画工作	美術の理解 2			
		家庭	衣食住の理解 2			
		体育	運動・健康の理解 2			
		外国語	外国語の理解 2			

●小一種免を取得するために必要な教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する 開設授業科目	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	国語（書写を含む。）	国語科指導法 2		
		社会	社会科指導法 2		
		算数	算数科指導法 2		
		理科	理科指導法 2		
		生活	生活科指導法 2		
		音楽	音楽科指導法 2		
		図画工作	図工科指導法 2		
		家庭	家庭科指導法 2		
		体育	体育科指導法 2		
		外国語	外国語科指導法 2		

●小一種免を取得するために必要な教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する 開設授業科目	単位数		備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数		必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理A（初等）	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職入門A（初等）	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学A（初等） 教育社会学A（初等）	2 2		左記2科目から1科目選択必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達・教育心理学A（初等）	2		

	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援A (初等)	2		
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論A (初等)	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の指導法A (初等)	2		
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法A (初等)	2		
	特別活動の指導法		教育方法・技術論A (初等)	2		
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		生徒指導・進路指導論A (初等)	2		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む。
	生徒指導の理論及び方法		教育相談の理論と方法A (初等)	2		
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法					
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前事後指導(小)	1		
			教育実習Ⅰ(小)	2		
			教育実習Ⅱ(小)	2		
	学校体験活動					
	教職実践演習		2	教職実践演習(幼・小)	2	

●小一種免を取得するために必要な大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
大学が独自に設定する科目	上記教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等		2	

最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得

●中一種免(国語)を取得するために必要な教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	国語学入門	2	
		国語学Ⅰ	2		
		国語学Ⅱ	2		
		国語学特論		2	
		語学・文学総合演習Ⅰ(国語学)	2		
		ことばとコミュニケーション	2		
		国文学 (国文学史を含む。)	国文学入門	2	
		国文学Ⅰ	2		
		国文学Ⅱ	2		
		国文学特論		2	
	語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)	2			
	文学	2			
	漢文学	漢文学入門	2		
		漢文学Ⅰ	2		
		漢文学Ⅱ	2		

	書道（書写を中心とする。）	漢文学特論		2	
		語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)	2		
		書写・書道入門	2		
		書写・書道Ⅰ		2	
		書写・書道Ⅱ		2	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	国語科教育法Ⅰ	2		
		国語科教育法Ⅱ	2		
		国語科教育法Ⅲ	2		
		国語科教育法Ⅳ	2		

●高一種免（国語）を取得するために必要な教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	国語学に関する専門的事項	国語学入門	2		
		国語学Ⅰ	2		
		国語学Ⅱ	2		
		国語学特論		2	
		語学・文学総合演習Ⅰ(国語学)	2		
	ことばとコミュニケーション	2			
	国文学(国文学史を含む。)	国文学入門	2		
		国文学Ⅰ	2		
		国文学Ⅱ	2		
		国文学特論		2	
		語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)	2		
		文学	2		
	漢文学	漢文学入門	2		
		漢文学Ⅰ	2		
		漢文学Ⅱ	2		
		漢文学特論		2	
		語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)	2		
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目				
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	国語科教育法Ⅰ	2		
		国語科教育法Ⅱ	2		
国語科教育法Ⅲ			2		
国語科教育法Ⅳ			2		

●中一種免（国語）又は高一種免（国語）を取得するために必要な教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数		必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理B(中等)	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門B(中等)	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政学B(中等) 教育社会学B(中等)	2 2		左記2科目から1科目選択必修

	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達・教育心理学B (中等)	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援B (中等)	2		
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論B (中等)	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中 10 ・ 高 8	道徳教育の指導法B (中等)	2		中免のみ
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法B (中等)	2		
	特別活動の指導法		教育方法・技術論B (中等)	2		
	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)		生徒指導・進路指導論B (中等)	2		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む。
	生徒指導の理論及び方法		教育相談の理論と方法B (中等)	2		
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法					
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育実践に関する科目	教育実習	中 5 ・ 高 3	教育実習事前事後指導 (中・高)	1		
			教育実習 I (中・高)	2		
			教育実習 II (中)		2	中免のみ必修
	学校体験活動					
	教職実践演習	2	教職実践演習 (中・高)	2		

●中一種免 (国語) を取得するために必要な大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
大学が独自に設定する科目	上記教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等		4	

最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得

●高一種免 (国語) を取得するために必要な大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
大学が独自に設定する科目	道徳教育の指導法B (中等)		2	

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上修得

●中一種免 (数学) を取得するために必要な教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	代数学	代数学基礎	2	
			代数学A (線形写像)	2	
			代数学B (群論)	2	
			代数学I (数論)		2
			代数学II (環と体)		2

		幾何学	応用数学Ⅱ(応用代数学)		2		
			幾何学基礎	2			
			幾何学A(集合と位相)	2			
			幾何学B(位相空間)	2			
		応用数学Ⅰ(位相幾何)		2			
		解析学	解析学基礎	2			
			解析学A(テーラー展開)	2			
			解析学B(複素関数)	2			
			解析学Ⅰ(ルベーグ積分)		2		
			解析学Ⅱ(関数解析)		2		
			応用数学Ⅲ(微分方程式)		2		
		「確率論、統計学」	確率・統計基礎	2			
			確率・統計応用	2			
		コンピュータ	コンピュータ基礎	2			
			コンピュータA(アルゴリズム論)	2			
			コンピュータB(統計データ分析)	2			
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)			数学科教育法Ⅰ	2		
				数学科教育法Ⅱ	2		
				数学科教育法Ⅲ	2		
数学科教育法Ⅳ				2			

●高一種免(数学)を取得するために必要な教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目	単位数		備考		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	選択			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	代数学	代数学基礎	2			
			代数学A(線形写像)	2			
			代数学B(群論)	2			
			代数学Ⅰ(数論)		2		
			代数学Ⅱ(環と体)		2		
			応用数学Ⅱ(応用代数学)		2		
		幾何学	幾何学基礎	2			
			幾何学A(集合と位相)	2			
			幾何学B(位相空間)	2			
			応用数学Ⅰ(位相幾何)		2		
		解析学	解析学基礎	2			
			解析学A(テーラー展開)	2			
			解析学B(複素関数)	2			
			解析学Ⅰ(ルベーグ積分)		2		
			解析学Ⅱ(関数解析)		2		
			応用数学Ⅲ(微分方程式)		2		
		「確率論、統計学」	確率・統計基礎	2			
			確率・統計応用	2			
		コンピュータ	コンピュータ基礎	2			
			コンピュータA(アルゴリズム論)	2			
			コンピュータB(統計データ分析)	2			
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					

	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	数学科教育法Ⅰ	2		
		数学科教育法Ⅱ	2		
		数学科教育法Ⅲ		2	
		数学科教育法Ⅳ		2	

●中一種免(音楽)を取得するために必要な教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		各科目に含めることが必要な事項	左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
科目区分				必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	ソルフェージュ	ソルフェージュⅠ	1		
			ソルフェージュⅡ	1		
			キーボードハーモニーⅠ	1		
			キーボードハーモニーⅡ	1		
			音楽表現ⅠA(ピアノ・歌)		2	
			音楽表現ⅡA(ピアノ・歌)		2	
		声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	声楽実技Ⅰ(日本伝統歌唱を含む)		1	※1
			声楽実技Ⅱ(日本伝統歌唱を含む)		1	※2
			声楽演奏法演習Ⅰ		1	※3
			声楽演奏法演習Ⅱ		1	※4
			合唱Ⅰ	1		
			合唱Ⅱ	1		
	器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	器楽演習ⅠA(ピアノ)			1	左記2科目と「※1」の科目を含む3科目から最低1科目1単位選択必修
		器楽演習ⅠB(管打)			1	
		器楽演習ⅡA(ピアノ)			1	左記2科目と「※2」の科目を含む3科目から最低1科目1単位選択必修
		器楽演習ⅡB(管打)			1	
		器楽特殊演習ⅠA(ピアノ)			1	左記2科目と「※3」の科目を含む3科目から最低1科目1単位選択必修
		器楽特殊演習ⅠB(管打)			1	
		器楽特殊演習ⅡA(ピアノ)			1	左記2科目と「※4」の科目を含む3科目から最低1科目1単位選択必修
		器楽特殊演習ⅡB(管打)			1	
	指揮法	指揮法		2		
		音楽理論・作曲法(編曲法を含む。) 音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	楽典		2	
			西洋の音楽史と理論		2	
			諸民族の音楽(日本伝統音楽を含む)		2	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		音楽科教育法Ⅰ	2		
音楽科教育法Ⅱ			2			
音楽科教育法Ⅲ			2			
音楽科教育法Ⅳ			2			

●高一種免(音楽)を取得するために必要な教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		各科目に含めることが必要な事項	左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
科目区分				必修	選択	
教科及び教科	教科に関する	ソルフェージュ	ソルフェージュⅠ	1		

科の指導法に関する科目	る専門的事項		ソルフェージュⅡ	1			
			キーボードハーモニーⅠ	1			
			キーボードハーモニーⅡ	1			
			音楽表現ⅠA(ピアノ・歌)		2		
			音楽表現ⅡA(ピアノ・歌)		2		
		声乐(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)		声乐実技Ⅰ(日本伝統歌唱を含む)		1	※1
				声乐実技Ⅱ(日本伝統歌唱を含む)		1	※2
				声乐演奏法演習Ⅰ		1	※3
				声乐演奏法演習Ⅱ		1	※4
				合唱Ⅰ	1		
			合唱Ⅱ	1			
	器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)		器楽演習ⅠA(ピアノ)		1	左記2科目と「※1」の科目を含む3科目から最低1科目1単位選択必修	
			器楽演習ⅠB(管打)		1		
			器楽演習ⅡA(ピアノ)		1	左記2科目と「※2」の科目を含む3科目から最低1科目1単位選択必修	
			器楽演習ⅡB(管打)		1		
			器楽特殊演習ⅠA(ピアノ)		1	左記2科目と「※3」の科目を含む3科目から最低1科目1単位選択必修	
			器楽特殊演習ⅠB(管打)		1		
			器楽特殊演習ⅡA(ピアノ)		1	左記2科目と「※4」の科目を含む3科目から最低1科目1単位選択必修	
			器楽特殊演習ⅡB(管打)		1		
			器楽合奏Ⅰ(和楽器を含む)	2			
	指揮法		指揮法	2			
		音楽理論・作曲法(編曲法を含む。) 音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)		楽典	2		
				西洋の音楽史と理論	2		
				諸民族の音楽(日本伝統音楽を含む)	2		
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		音楽科教育法Ⅰ	2			
		音楽科教育法Ⅱ	2				
		音楽科教育法Ⅲ		2			
		音楽科教育法Ⅳ		2			

●中一種免(数学)又は高一種免(数学)を取得するために必要な教育の基礎的理解に関する科目等

科目	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
	各科目に含めることが必要な事項	単位数		必修	選択	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理B(中等)	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職入門B(中等)	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育行政学B(中等) 教育社会学B(中等)	2 2		左記2科目から1科目選択必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達・教育心理学B(中等)	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援B(中等)	2		

	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論B（中等）	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中 10 ・ 高 8	道徳教育の指導法B（中等）	2		中免のみ
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法B（中等）	2		
	特別活動の指導法		教育方法・技術論B（中等）	2		
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		生徒指導・進路指導論B（中等）	2		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含ま。
	生徒指導の理論及び方法		教育相談の理論と方法B（中等）	2		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法					
教育実践に関する科目	教育実習	中 5 ・ 高 3	教育実習事前事後指導（中・高）	1		
			教育実習Ⅰ（中・高）	2		
			教育実習Ⅱ（中）		2	中免のみ必修
	学校体験活動					
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2		

●中一種免（音楽）又は高一種免（音楽）を取得するために必要な教育の基礎的理解に関する科目等

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する 開設授業科目	単位数		備考	
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数		必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理B（中等）	2			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職入門B（中等）	2			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育行政学B（中等） 教育社会学B（中等）		2 2		左記2科目から1科目選択必修
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達・教育心理学B（中等）	2			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援B（中等）	2			
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論B（中等）	2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中 10 ・ 高 8	道徳教育の指導法B（中等）	2		中免のみ	
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法B（中等）	2			
	特別活動の指導法		教育方法・技術論B（中等）	2			
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		生徒指導・進路指導論B（中等）	2		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含ま。	
	生徒指導の理論及び方法		教育相談の理論と方法B（中等）	2			
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法						
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						

教育実践に関する科目	教育実習	中 5 ・ 高 3	教育実習事前事後指導（中・高）	1		
			教育実習Ⅰ（中・高）	2		
			教育実習Ⅱ（中）		2	中免のみ必修
	学校体験活動					
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2		

●中一種免（数学）を取得するために必要な大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
大学が独自に設定する科目	上記教科及び教科の指導法に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目等		4	

最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得

●高一種免（数学）を取得するために必要な大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
大学が独自に設定する科目	道徳教育の指導法B（中等）		2	

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上修得

●中一種免（音楽）を取得するために必要な大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
大学が独自に設定する科目	音楽表現ⅠB（リズム&ダンス）		2	
	音楽表現ⅡB（リズム&ダンス）		2	
	身体表現演習Ⅰ		1	
	身体表現演習Ⅱ		1	
	身体表現特殊演習Ⅰ		1	
	身体表現特殊演習Ⅱ		1	

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上修得

【表17-4】高一種免（音楽）を取得するために必要な大学が独自に設定する科目

免許法施行規則に定める科目区分等	左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
大学が独自に設定する科目	道徳教育の指導法B（中等）		2	
	音楽表現ⅠB（リズム&ダンス）		2	
	音楽表現ⅡB（リズム&ダンス）		2	
	身体表現演習Ⅰ		1	
	身体表現演習Ⅱ		1	
	身体表現特殊演習Ⅰ		1	
	身体表現特殊演習Ⅱ		1	

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて12単位以上修得

●幼一種免又は小一種免又は中一種免（国語）又は中一種免（数学）又は中一種免（音楽）又は高一種免（国語）又は高一種免（数学）又は高一種免（音楽）を取得するために必要な教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則第66条の6に定める科目		左記に対応する本学の授業科目	単位数		備考
科目区分	単位数		必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法	2		
体育	2	健康スポーツ(理論)	1		
		健康スポーツ(実技)	1		
外国語コミュニケーション	2	英会話Ⅰ	1		
		英会話Ⅱ	1		
情報機器の操作	2	情報機器の操作	2		

【人間教育学科カリキュラム表 H30 年度～】

人間教育学部 人間教育学科 人間教育学専攻									
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
基礎 教養 科目	英語Ⅰ	1・2・3・4前		1		○			
	英語Ⅱ	1・2・3・4後		1		○			
	英会話Ⅰ	1・2・3・4前	1				○		
	英会話Ⅱ	1・2・3・4後	1				○		
	中国語基礎Ⅰ	1・2・3・4前		1		○			
	中国語基礎Ⅱ	1・2・3・4後		1		○			
	中国語会話	1・2・3・4後		1			○		
	スペイン語基礎Ⅰ	1・2・3・4前		1		○			
	スペイン語基礎Ⅱ	1・2・3・4後		1		○			
	スペイン語会話	1・2・3・4後		1			○		
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前		1		○			
	日本語Ⅱ	1・2・3・4後		1		○			
	日本語表現Ⅰ	1・2・3・4前		1			○		
	日本語表現Ⅱ	1・2・3・4後		1			○		
	日本語表現Ⅲ	1・2・3・4前		1			○		
	日本語表現Ⅳ	1・2・3・4後		1			○		
	文学	1・2・3・4前		2		○			
	哲学	1・2・3・4前		2		○			
	倫理学	1・2・3・4後		2		○			
	心理学	1・2・3・4後		2		○			
	行動の科学	1・2・3・4前		2		○			
	文化人類学	1・2・3・4前		2		○			
	音楽の世界	1・2・3・4前		2		○			
	社会学	1・2・3・4前		2		○			
	日本国憲法	1・2・3・4後	2			○			
	歴史学	1・2・3・4前		2		○			
	地理学	1・2・3・4前		2		○			
	数学の世界	1・2・3・4前		2		○			
	自然科学の基礎	1・2・3・4後		2		○			
	環境化学の基礎	1・2・3・4前		2		○			
	健康スポーツ(理論)	1・2・3・4前	1			○			
	健康スポーツ(実技)	1・2・3・4後	1					○	
	スポーツ実技Ⅰ	1・2・3・4前		1				○	
	スポーツ実技Ⅱ	1・2・3・4後		1				○	
	共生 教養 科目	共生と社会	1・2・3・4前		2		○		
		人権論	1・2・3・4後		2		○		
		ボランティア活動	1・2・3・4後		2		○		
		生活と環境	1・2・3・4後		2		○		
	国 際 良 科 ・	奈良学	1・2・3・4後		2		○		
		異文化コミュニケーション	1・2・3・4前		2		○		
		国際事情	1・2・3・4前		2		○		
	情 報 教 養 科 目	情報機器の操作	1・2・3・4前	2			○		
		情報倫理とセキュリティ	1・2・3・4後		2		○		
データの世界		1・2・3・4後		2		○			
CGの基礎と演習		1・2・3・4前		2		○			
情報と分析		1・2・3・4前		2		○			
キ ャ リ ア 形 成 科 目	キャリアデザインⅠ	1前		1			○		
	キャリアデザインⅡ	1後		1			○		
	キャリアディベロップメントⅠ	2前		1			○		
	キャリアディベロップメントⅡ	2後		1			○		
	キャリアスキルアップⅠ	3前		1			○		
	キャリアスキルアップⅡ	3後		1			○		
	インターンシップ	3後		2				○	
共通教育科目小計 (53科目)			8	72	0			—	

基礎科目	教育学の基礎に関する理解	教育心理学A(初等)	2前	2	○		
		教育心理学B(中等)	2前	2	○		
		発達心理学A(初等)	1前	2	○		
		発達心理学B(中等)	1前	2	○		
		保育の心理学I	2後	2	○		
		保育の心理学II	3前	1		○	
		教育行政学A(初等)	2前	2	○		
		教育行政学B(中等)	2前	2	○		
		教育社会学A(初等)	2後	2	○		
		教育社会学B(中等)	2後	2	○		
		教職入門A(初等)	1前	2	○		
		教職入門B(中等)	1前	2	○		
		社会福祉	1前	2	○		
		幼児理解	1前	2	○		
		保育者論	1後	2	○		
		教育原理A(初等)	1後	2	○		
		教育原理B(中等)	1後	2	○		
		保育原理	2前	2	○		
		言葉の理解	1後	2	○		
		社会の理解	1後	2	○		
		教の理解	1後	2	○		
		自然の理解	1前	2	○		
		生活の理解	1後	2	○		
		音楽の理解	1前	2	○		
		美術の理解	1前	2	○		
		衣食住の理解	1前	2	○		
		運動・健康の理解	1後	2	○		
		書写演習(小)	2後	2		○	
		器楽演習I(鍵盤楽器)	1前	2		○	
		器楽演習II(鍵盤楽器)	2後	2		○	
		食の心理	2後	2	○		
		国語学入門	1前	2	○		
		国語学I	1後	2	○		
		国文学入門	1前	2	○		
		国文学I	1後	2	○		
		漢文学入門	1前	2	○		
		漢文学I	1後	2	○		
		書写・書道入門	1後	2	○		
		書写・書道I	2前	2	○		
小計(39科目)		0	77	0		-	
人間教育の基礎	人間教育学	1前	2		○		
	ことばとコミュニケーション	1後	2		○		
	教育と日本の伝統文化	2後	2		○		
	英米文学	2前	2		○		
	小計(4科目)	-	2	6	0		-
基礎科目小計(43科目)			2	83	0		-
発展科目	現代教育課題A(不登校・いじめ)	3前	2		○		
	現代教育課題B(特別支援)	3前	2		○		
	現代教育課題C(学校と安全)	3後	2		○		
	現代教育課題D(学校における異文化理解)	3後	2		○		
	保育相談支援	3前	2			○	
	家庭支援論	3前	2		○		
	相談援助	3後	1			○	
	児童家庭福祉	2前	2		○		
	社会的養護	2前	2		○		
	教育相談の理論と方法A(初等)	3後	2		○		
	教育相談の理論と方法B(中等)	3後	2		○		
小計(11科目)		0	21	0		-	

専 門 科 目	発 展 科 目	教 育 実 践 の 理 解	保育課程総論	1後		2		○	
			保育内容総論	1前		2			○
			子どもと健康	2後		2			○
			子どもと人間関係	1後		2			○
			子どもと環境	2前		2			○
			子どもと言葉	2前		2			○
			子どもと表現(体育)	2後		2			○
			子どもと表現(図工)	3前		2			○
			子どもと表現(音楽)	2後		2			○
			社会的養護内容	2後		1			○
			乳児保育	2前		2			○
			障害児保育	3前		2			○
			子どもの保健ⅠA	3前		2		○	
			子どもの保健ⅠB	3後		2		○	
			子どもの保健Ⅱ	3後		1			○
			子どもの食と栄養	2後		2			○
			教育課程論A(初等)	3前		2		○	
			教育課程論B(中等)	3前		2		○	
			道徳教育の指導法A(初等)	3後		2		○	
			道徳教育の指導法B(中等)	3後		2		○	
			教育方法・技術論A(初等)	3後		2		○	
			教育方法・技術論B(中等)	3後		2		○	
			特別活動の指導法A(初等)	2前		2		○	
			特別活動の指導法B(中等)	2前		2		○	
			生徒指導・進路指導論A(初等)	2後		2		○	
			生徒指導・進路指導論B(中等)	2後		2		○	
			国語科指導法	3前		2		○	
			社会科指導法	2前		2		○	
			算数科指導法	2前		2		○	
			理科指導法	3前		2		○	
			生活科指導法	2前		2		○	
			音楽科指導法	2後		2		○	
			器楽・歌唱の指導法	3後		2			○
			図工科指導法	2後		2		○	
			家庭科指導法	2後		2		○	
			体育科指導法	3前		2		○	
			体育実技の指導法	3後		2			○
			総合的な学習の時間	2後		2		○	
			小学校外国語活動の指導法	2後		2			○
			国語学Ⅱ	2前		2		○	
			国語学特論	4前		2		○	
			語学・文学総合演習Ⅰ(国語学)	2後		2			○
			国文学Ⅱ	2前		2		○	
			国文学特論	3前		2		○	
			語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)	2後		2			○
			漢文学Ⅱ	2前		2		○	
			漢文学特論	3後		2		○	
			語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)	2後		2			○
			書写・書道Ⅱ	3前		2			○
			国語科教育法Ⅰ	2後		2		○	
			国語科教育法Ⅱ	3前		2		○	
			国語科教育法Ⅲ	3後		2		○	
			国語科教育法Ⅳ	4前		2		○	
小計(53科目)	—	0	104	0		—			
教 職 キ ャ リ ア 形 成	教職表現力演習Ⅰ	1通年		1		○			
	教職表現力演習Ⅱ	2通年		1		○			
	人間教育実践力開発演習Ⅰ	1通年		2		○			
	人間教育実践力開発演習Ⅱ	2通年		2		○			
	人間教育実践力開発演習Ⅲ	3通年		2		○			
	人間教育実践力開発演習Ⅳ	4通年		2		○			
小計(6科目)	—	0	10	0		—			
発展科目小計(70科目)			0	135	0	—			

専門科目	演習実習科目	保育所実習Ⅰ	3前	2				○
		保育所実習指導Ⅰ	3前	1			○	
		施設実習Ⅰ	3後	2				○
		施設実習指導Ⅰ	3後	1			○	
		保育所実習Ⅱ	4前	2				○
		保育所実習指導Ⅱ	4前	1			○	
		施設実習Ⅱ	4後	2				○
		施設実習指導Ⅱ	4後	1			○	
		教育実習事前事後指導(幼)	3通年	1			○	
		教育実習Ⅰ(幼)	3前	2				○
		教育実習Ⅱ(幼)	3前	2				○
		教育実習事前事後指導(小)	3通年	1			○	
		教育実習Ⅰ(小)	3前	2				○
		教育実習Ⅱ(小)	3前	2				○
		教育実習事前事後指導(中・高)	3通年	1			○	
		教育実習Ⅰ(中・高)	3前	2				○
		教育実習Ⅱ(中)	3前	2				○
		保育実践演習	4後	2			○	
		教職実践演習(幼・小)	4後	2			○	
		教職実践演習(中・高)	4後	2			○	
小計(20科目)			—	0	33	0	—	
演習実習科目	ゼミナール	基礎ゼミナールⅠ	1通年	2			○	
		基礎ゼミナールⅡ	2通年	2			○	
		人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	3通年	4			○	
		人間教育学ゼミナールⅡ(応用)	4通年	4			○	
		卒業研究	4後	4			○	
		小計(5科目)			—	12	4	0
演習実習科目小計(25科目)				12	37	0	—	
専門科目小計(小計138科目)				14	255	0	—	
関連科目	論学校図書館司書教	学校経営と学校図書館	4後	2		○		
		学校図書館メディアの構成	4前	2		○		
		学習指導と学校図書館	4前	2		○		
		読書と豊かな人間性	4後	2		○		
		情報メディアの活用	4後	2		○		
	日本語教師資格	言語学概論	4前	2		○		
		社会言語学	3前	2		○		
		日本事情	3後	2		○		
		日本語教育入門	3後	2		○		
		日本語教育指導法・教材研究	4前	2		○		
日本語教育実習事前事後指導	4前	1			○			
日本語教育実習(国内又は海外)	4前	2				○		
関連科目小計(12科目)			—	0	23	0	—	
合計(203科目)			—	22	350	0	—	

註1：下記「教育実践実習」区分の授業科目①～③のいずれかを選択必修科目とする。

- ① 教育実習事前事後指導(幼)、教育実習Ⅰ(幼)、教育実習Ⅱ(幼)、教職実践演習(幼・小)
 ② 教育実習事前事後指導(小)、教育実習Ⅰ(小)、教育実習Ⅱ(小)、教職実践演習(幼・小)
 ③ 教育実習事前事後指導(中・高)、教育実習Ⅰ(中・高)、教育実習Ⅱ(中)、教職実践演習(中・高)

人間教育学部 人間教育学科 中等(数学・音楽)専攻

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
基礎 教養 科目	英語Ⅰ	1・2・3・4前		1		○		
	英語Ⅱ	1・2・3・4後		1		○		
	英会話Ⅰ	1・2・3・4前	1				○	
	英会話Ⅱ	1・2・3・4後	1				○	
	中国語基礎Ⅰ	1・2・3・4前		1		○		
	中国語基礎Ⅱ	1・2・3・4後		1		○		
	中国語会話	1・2・3・4後		1			○	
	スペイン語基礎Ⅰ	1・2・3・4前		1		○		
	スペイン語基礎Ⅱ	1・2・3・4後		1		○		
	スペイン語会話	1・2・3・4後		1			○	
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前		1		○		
	日本語Ⅱ	1・2・3・4後		1		○		
	日本語表現Ⅰ	1・2・3・4前		1			○	
	日本語表現Ⅱ	1・2・3・4後		1			○	
	日本語表現Ⅲ	1・2・3・4前		1			○	
	日本語表現Ⅳ	1・2・3・4後		1			○	
	文学	1・2・3・4前		2		○		
	哲学	1・2・3・4前		2		○		
	倫理学	1・2・3・4後		2		○		
	心理学	1・2・3・4後		2		○		
	行動の科学	1・2・3・4前		2		○		
	文化人類学	1・2・3・4前		2		○		
	音楽の世界	1・2・3・4前		2		○		
	社会学	1・2・3・4前		2		○		
	日本国憲法	1・2・3・4後	2			○		
	歴史学	1・2・3・4前		2		○		
	地理学	1・2・3・4前		2		○		
	数学の世界	1・2・3・4前		2		○		
	自然科学の基礎	1・2・3・4後		2		○		
	環境化学の基礎	1・2・3・4前		2		○		
	健康スポーツ(理論)	1・2・3・4前		1		○		
	健康スポーツ(実技)	1・2・3・4後		1				○
スポーツ実技Ⅰ	1・2・3・4前			1			○	
スポーツ実技Ⅱ	1・2・3・4後			1			○	
共生 教養 科目	共生と社会	1・2・3・4前		2		○		
	人権論	1・2・3・4後		2		○		
	ボランティア活動	1・2・3・4後		2		○		
	生活と環境	1・2・3・4後		2		○		
国 際 良 科 ・	奈良学	1・2・3・4後		2		○		
	異文化コミュニケーション	1・2・3・4前		2		○		
	国際事情	1・2・3・4前		2		○		
情 報 教 養 科 目	情報機器の操作	1・2・3・4前	2			○		
	情報倫理とセキュリティ	1・2・3・4後		2		○		
	データの世界	1・2・3・4後		2		○		
	CGの基礎と演習	1・2・3・4前		2		○		
	情報と分析	1・2・3・4前		2		○		
キ ャ リ ア 形 成 科 目	キャリアデザインⅠ	1前		1			○	
	キャリアデザインⅡ	1後		1			○	
	キャリアディベロップメントⅠ	2前		1			○	
	キャリアディベロップメントⅡ	2後		1			○	
	キャリアスキルアップⅠ	3前		1			○	
	キャリアスキルアップⅡ	3後		1			○	
インターンシップ	3後		2				○	
共通教育科目小計(53科目)			8	72	0			-

専 門 科 目	基 礎 科 目	教育心理学B (中等)	2前		2		○		
		発達心理学B (中等)	1前		2		○		
		教育行政学B (中等)	2前		2		○		
		教育社会学B (中等)	2後		2		○		
		教職入門B (中等)	1前		2		○		
		教育原理B (中等)	1後		2		○		
		数の理解	1後		2		○		
		音楽の理解	1前		2		○		
		器楽演習Ⅰ (鍵盤楽器)	1前		2			○	
		器楽演習Ⅱ (鍵盤楽器)	2後		2			○	
		食の心理	2後		2		○		
		代数学基礎	1後		2		○		
		解析学基礎	1後		2		○		
		コンピュータ基礎	1後		2		○		
		代数学A (線形写像)	2前		2		○		
		幾何学基礎	2前		2		○		
		解析学A (テーラー展開)	2前		2		○		
		確率・統計基礎	2前		2		○		
		代数学B (群論)	2後		2		○		
		幾何学A (集合と位相)	2後		2		○		
		解析学B (複素関数)	2後		2		○		
		コンピュータA (アルゴリズム論)	2後		2		○		
		楽典	1後		2		○		
		ソルフェージュⅠ	2前		1			○	
		ソルフェージュⅡ	2後		1			○	
		キーボードハーモニーⅠ	3前		1			○	
		キーボードハーモニーⅡ	3後		1			○	
		音楽表現ⅠA (ピアノ・歌)	1通年		2			○	
		音楽表現ⅠB (リズム&ダンス)	1通年		2			○	
		音楽表現ⅡA (ピアノ・歌)	2通年		2			○	
		音楽表現ⅡB (リズム&ダンス)	2通年		2			○	
	小計 (31科目)			0	58	0		—	
	に 関 する 理 解	人 間 教 育 学 の 基 礎	人間教育学	1前	2			○	
			教育と日本の伝統文化	2後		2		○	
			英米文学	2前		2		○	
			数学入門	1前		2		○	
			西洋の音楽史と理論	2前		2		○	
諸民族の音楽 (日本伝統音楽を含む)			2後		2		○		
小計 (6科目)		—	2	10	0		—		
基礎科目小計 (37科目)			2	68	0		—		
専 門 科 目	當 に 関 する 理 解	現 代 教 育 ・ 教 育 経 験	現代教育課題A(不登校・いじめ)	3前		2		○	
			現代教育課題B(特別支援)	3前		2		○	
			現代教育課題C(学校と安全)	3後		2		○	
			現代教育課題D(学校における異文化理解)	3後		2		○	
			教育相談の理論と方法B (中等)	3後		2		○	
			小計 (5科目)		0	10	0		—
	発 展 科 目	教 育 実 践 の 理 解	教育課程論B (中等)	3前		2		○	
			道徳教育の指導法B (中等)	3後		2		○	
			教育方法・技術論B (中等)	3後		2		○	
			特別活動の指導法B (中等)	2前		2		○	
			生徒指導・進路指導論B (中等)	2後		2		○	
			総合的な学習の時間	2後		2		○	
			代数学Ⅰ (数論)	3前		2		○	
			幾何学B (位相空間)	3前		2		○	
			確率・統計応用	3前		2		○	
			代数学Ⅱ (環と体)	3後		2		○	
			解析学Ⅰ (ルベーグ積分)	3後		2		○	
コンピュータB (統計データ分析)	3後		2		○				
応用数学Ⅰ (位相幾何)	4前		2		○				
解析学Ⅱ (関数解析)	4前		2		○				
応用数学Ⅱ (応用代数学)	4後		2		○				
応用数学Ⅲ (微分方程式)	4後		2		○				
数学科教育法Ⅰ	2後		2		○				
数学科教育法Ⅱ	3前		2		○				
数学科教育法Ⅲ	3後		2		○				
数学科教育法Ⅳ	4前		2		○				

専門科目	発展科目	合唱Ⅰ	2前		1			○		
		合唱Ⅱ	2後		1			○		
		器楽演習ⅠA（ピアノ）	3前		1			○		
		器楽演習ⅠB（管打）	3前		1			○		
		身体表現演習Ⅰ	3前		1			○		
		声楽実技Ⅰ（日本伝統歌唱を含む）	3前		1			○		
		器楽演習ⅡA（ピアノ）	3後		1			○		
		器楽演習ⅡB（管打）	3後		1			○		
		身体表現演習Ⅱ	3後		1			○		
		声楽実技Ⅱ（日本伝統歌唱を含む）	3後		1			○		
		器楽特殊演習ⅠA（ピアノ）	4前		1			○		
		器楽特殊演習ⅠB（管打）	4前		1			○		
		身体表現特殊演習Ⅰ	4前		1			○		
		声楽演奏法演習Ⅰ	4前		1			○		
		器楽特殊演習ⅡA（ピアノ）	4後		1			○		
		器楽特殊演習ⅡB（管打）	4後		1			○		
		身体表現特殊演習Ⅱ	4後		1			○		
		声楽演奏法演習Ⅱ	4後		1			○		
		器楽合奏Ⅰ（和楽器を含む）	1通年		2			○		
		器楽合奏Ⅱ	2通年		2			○		
		器楽合奏Ⅲ	3通年		2			○		
		器楽合奏Ⅳ	4通年		2			○		
		指揮法	3前		2		○			
		作曲法基礎（編曲法を含む）	4前		2		○			
		作曲法応用（編曲法を含む）	4後		1			○		
		音楽科教育法Ⅰ	2後		2		○			
		音楽科教育法Ⅱ	3前		2		○			
		音楽科教育法Ⅲ	3後		2		○			
		音楽科教育法Ⅳ	4前		2		○			
		小計（49科目）	—	0	79	0			—	
		リ教職形成	教職表現力演習Ⅰ	1通年		1			○	
			教職表現力演習Ⅱ	2通年		1			○	
			小計（2科目）	—	0	2	0			—
		発展科目小計（56科目）			0	91	0			—
		演習実習科目	教育実践実習	教育実習事前事後指導（中・高）	3通年	1			○	
				教育実習Ⅰ（中・高）	3前	2			○	
				教育実習Ⅱ（中）	3前	2			○	
				教職実践演習（中・高）	4後	2			○	
				小計（4科目）	—	7	0	0		—
			ゼミナール	基礎ゼミナールⅠ	1通年	2			○	
				基礎ゼミナールⅡ	2通年	2			○	
				人間教育学ゼミナールⅠ（基礎）	3通年	4			○	
				人間教育学ゼミナールⅡ（応用）	4通年	4			○	
				卒業研究	4後		4			○
		小計（5科目）	—	12	4	0		—		
		演習実習科目小計（9科目）			19	4	0		—	
		専門科目小計（小計102科目）			21	163	0		—	
		関連科目	学校図書館司書	学校経営と学校図書館	4後		2		○	
				学校図書館メディアの構成	4前		2		○	
学習指導と学校図書館	4前				2		○			
読書と豊かな人間性	4後				2		○			
情報メディアの活用	4後				2		○			
日本語教師資格	言語学概論		4前		2		○			
	社会言語学		3前		2		○			
	日本事情		3後		2		○			
	日本語教育入門		3後		2		○			
	日本語教育指導法・教材研究		4前		2		○			
日本語教育実習事前事後指導	4前		1			○				
日本語教育実習（国内又は海外）	4前		2			○				
小計（12科目）	—	0	23	0		—				
合計（167科目）		—	29	258	0		—			

(保育士資格)				当該養成施設における教科の開設状況等					配当	開講時期
告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等						
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数				
						必修	選択	計		
教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	日本国憲法	講義	2		2	1	後期
				情報機器の操作	講義	2		2	1	前期
				文学	講義		2	2	1	前期
				音楽の世界	講義		2	2	1	前期
				数学の世界	講義		2	2	1	前期
				データの世界	講義		2	2	1	後期
				キャリアデザインⅠ	演習		1	1	1	前期
				キャリアデザインⅡ	演習		1	1	1	後期
				キャリアディベロップメントⅠ	演習		1	1	2	—
				キャリアディベロップメントⅡ	演習		1	1	2	—
	キャリアスキルアップⅠ	演習		1	1	3	—			
	キャリアスキルアップⅡ	演習		1	1	3	—			
	外国語	演習	2以上	英会話Ⅰ	演習	1		1	1	前期
				英会話Ⅱ	演習	1		1	1	後期
				中国語基礎Ⅰ	講義		1	1	1	前期
				中国語基礎Ⅱ	講義		1	1	1	後期
				中国語会話	演習		1	1	1	後期
				スペイン語基礎Ⅰ	講義		1	1	1	前期
				スペイン語基礎Ⅱ	講義		1	1	1	後期
				スペイン語会話	演習		1	1	1	後期
体育	講義	1	健康スポーツ（理論）	講義	1		1	1	前期	
	実技	1	健康スポーツ（実技）	実技	1		1	1	後期	
合計		10単位以上					8	20	28	
28単位（≧10単位）										
告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					配当	開講時期
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数				
						必修	選択	計		
保育の 本質・目 に関する 科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2		2	2	—
	教育原理	講義	2	教育原理A（初等）	講義	2		2	1	後期
	児童家庭福祉	講義	2	児童家庭福祉	講義	2		2	2	—
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2		2	1	前期
	相談援助	演習	1	相談援助	演習	1		1	3	—
	社会的養護	講義	2	社会的養護	講義	2		2	2	—
	保育者論	講義	2	保育者論	講義	2		2	1	後期
保育の 対象の 理解 に関する 科目	保育の心理学Ⅰ	講義	2	保育の心理学Ⅰ	講義	2		2	2	—
	保育の心理学Ⅱ	演習	1	保育の心理学Ⅱ	演習	1		1	3	—
	子どもの保健Ⅰ	講義	4	子どもの保健ⅠA	講義	2		2	3	—
		演習	1	子どもの保健ⅠB	講義	2		2	3	—
	子どもの保健Ⅱ	演習	2	子どもの保健Ⅱ	演習	1		1	3	—
	子どもの食と栄養	講義	2	子どもの食と栄養	演習	2		2	2	—
家庭支援論	講義	2	家庭支援論	講義	2		2	3	—	
保育の 内容・方 法に関する 科目	保育課程論	講義	2	保育課程総論	講義	2		2	1	後期
	保育内容総論	演習	2	保育内容総論	演習	2		2	1	前期
	保育内容演習	演習	5	子どもと健康	演習	2		2	2	—
				子どもと人間関係	演習	2		2	1	後期
				子どもと環境	演習	2		2	2	—
				子どもと言葉	演習	2		2	2	—
	乳児保育	演習	2	乳児保育	演習	2		2	2	—
	障害児保育	演習	2	障害児保育	演習	2		2	3	—
社会的養護内容	演習	1	社会的養護内容	演習	1		1	2	—	
保育相談支援	演習	2	保育相談支援	演習	2		2	3	—	
保育の 表現技術	保育の表現技術	演習	4	子どもと表現(体育)	演習	2		2	2	—
				子どもと表現(図工)	演習	2		2	3	—
				子どもと表現(音楽)	演習	2		2	2	—
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育所実習Ⅰ	実習	2/4		2/4	3	—
				施設実習Ⅰ	実習	2/4		2/4	3	—
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育所実習指導Ⅰ	演習	1		1	3	—
				施設実習指導Ⅰ	演習	1		1	3	—
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育実践演習	演習	2		2	4	—
合計		51単位					58	58		
58単位（≧51単位）										

告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					配当	開講時期							
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数											
						必修	選択	計									
保育の本質・科目目				教職入門A（初等）	講義	2		2	1	前期							
				教育行政学A（初等）	講義	2		2	2	—							
				人間教育学	講義	2		2	1	前期							
保育の対象の科目理			15	教育心理学A（初等）	講義	2		2	2	—							
				発達心理学A（初等）	講義		2	2	1	前期							
				幼児理解	講義	2		2	1	後期							
保育の内容・方法			位	各指定保育士養成施設において設定													
											教育方法・技術論A（初等）	講義	2		2	3	—
保育の表現技術					音楽科指導法	講義	2		2	2	—						
					器楽・歌唱の指導法	講義		2	2	3	—						
					図工科指導法	講義	2		2	2	—						
					体育実技の指導法	演習		2	2	3	—						
					器楽演習Ⅰ（鍵盤楽器）	演習		2	2	1	前期						
保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	〔2〕	保育所実習Ⅱ	実習	2		2	4	—							
				保育所実習指導Ⅱ	演習	1		1	4	—							
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	〔1〕	施設実習Ⅱ	実習		2	2	4	—							
				施設実習指導Ⅱ	演習		1	1	4	—							
合計		18単位以上					19	11	30								
				30単位（≥18単位）													
保育士資格取得科目ではないが、学校独自の科目として開設されている教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					配当	開講時期							
				左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数											
						必修	選択	計									
				衣食住の理解	講義		2	2	1	前期							
				行動の科学	講義		2	2	1	集中							
				食の心理	講義		2	2	2	—							
				ことばとコミュニケーション	講義		2	2	1	後期							
				生活科指導法	講義		2	2	2	—							
				家庭科指導法	講義		2	2	2	—							
				体育科指導法	講義		2	2	2	—							
合計				14	14												

【人間教育学科カリキュラム表 H26年度～H27年度】

人間教育学部 人間教育学科								
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
共通教育科目	英語 I	1・2・3・4前	1			○		
	英語 II	1・2・3・4後	1			○		
	英会話 I	1・2・3・4前	1				○	
	英会話 II	1・2・3・4後	1				○	
	中国語基礎 I	1・2・3・4前		1		○		
	中国語基礎 II	1・2・3・4後		1		○		
	中国語会話	1・2・3・4後		1			○	
	日本語 I	1・2・3・4前		1		○		
	日本語 II	1・2・3・4後		1		○		
	日本語表現 I	1・2・3・4前		1			○	
	日本語表現 II	1・2・3・4後		1			○	
	文学	1・2・3・4前			2	○		
	哲学	1・2・3・4前			2	○		
	倫理学	1・2・3・4後			2	○		
	心理学	1・2・3・4後			2	○		
	行動科学の基礎	1・2・3・4前			2	○		
	文化人類学	1・2・3・4前			2	○		
	感性・イメージ表現	1・2・3・4後			2	○		
	音楽の世界	1・2・3・4前			2	○		
	社会学	1・2・3・4前			2	○		
	社会科学の基礎	1・2・3・4後			2	○		
	日本国憲法	1・2・3・4後	2			○		
	外国史	1・2・3・4前		2		○		
	地理学	1・2・3・4前			2	○		
	数学の世界	1・2・3・4前			2	○		
	物理と地学の基礎	1・2・3・4後			2	○		
	環境化学の基礎	1・2・3・4前			2	○		
	実験と科学	1・2・3・4前			2	○		
	健康スポーツ(理論)	1・2・3・4前		1		○		
	健康スポーツ(実技)	1・2・3・4後		1			○	
	スポーツ実技 I	1・2・3・4前			1		○	
	スポーツ実技 II	1・2・3・4後			1		○	
	共生教養科目	共生と日本社会	1・2・3・4前		2		○	
		人権論	1・2・3・4後		2		○	
		ボランティア活動	1・2・3・4後		2		○	
		生活と環境	1・2・3・4後		2		○	
	国際科目・奈良学	奈良学	1・2・3・4後		2		○	
		文化コミュニケーション	1・2・3・4前		2		○	
		文化芸術交流論	1・2・3・4前		2		○	
		文化芸術交流演習	1・2・3・4後		1			○
		国際経済事情	1・2・3・4前		2		○	
	情報教養科目	情報機器の操作	1・2・3・4前	2			○	
		情報倫理とセキュリティ	1・2・3・4後		2		○	
シミュレーションの世界		1・2・3・4後		2		○		
データの世界		1・2・3・4後		2		○		
CGの基礎と演習		1・2・3・4前		2		○		
キャリア形成科目	キャリアデザイン I	1前		1			○	
	キャリアデザイン II	1後		1			○	
	キャリアディベロップメント I	2前		1			○	
	キャリアディベロップメント II	2後		1			○	
	キャリアスキルアップ I	3前		1			○	
	キャリアスキルアップ II	3後		1			○	
	インターンシップ	3後		2			○	
共通教育科目小計 (53科目)			-	10	74	0	-	

専 門 科 目	基 礎 科 目	教育心理学A (初等)	2前	2		○		
		教育心理学B (中等)	2前		2	○		
		発達心理学A (初等)	1前		2	○		
		発達心理学B (中等)	1前		2	○		
		教育行政学A (初等)	2前	2		○		
		教育行政学B (中等)	2後		2	○		
		教職入門A (初等)	1前	2		○		
		教職入門B (中等)	1前		2	○		
		教育原理A (初等)	1後	2		○		
		教育原理B (中等)	1後		2	○		
		学力と評価	2前		2	○		
		言葉の理解	2前	2		○		
		社会の理解	1後	2		○		
		数の理解	1後	2		○		
		自然の理解	2後	2		○		
		生活の理解	1後	2		○		
		音楽の理解	1前	2		○		
		美術の理解	1前	2		○		
		衣食住の理解	2前		2	○		
		運動・健康の理解	2前	2		○		
		書写演習(小)	2後		2		○	
		器楽演習Ⅰ(鍵盤楽器)	1前		2		○	
		器楽演習Ⅱ(鍵盤楽器)	2後		2		○	
		器楽演習Ⅲ(パーカッション)	1前		2		○	
		器楽演習Ⅳ(パーカッション)	1後		2		○	
		行動の科学	2後		2	○		
		食の心理	2後		2	○		
		国語学入門	2前		2	○		
		国語学Ⅰ	2後		2	○		
		国文学入門	2前		2	○		
		国文学Ⅰ	2後		2	○		
		漢文学入門	2前		2	○		
		漢文学Ⅰ	2後		2	○		
		書写・書道入門	1後		2	○		
		書写・書道Ⅰ	2前		2	○		
小計 (35科目)			24	46	0		—	
解 人 間 教 育 学 の 基 礎 に 関 す る 理	人間教育学Ⅰ(入門)	1前	2		○			
	人間教育学Ⅱ(応用)	2前	2		○			
	ことばとコミュニケーション	1後		2	○			
	教育と日本の伝統文化入門	1後	2		○			
	教育と日本の伝統文化演習	2前		1		○		
	異文化コミュニケーション	2前		2	○			
	英米文学	2前		2	○			
	英語とテレビに見る異文化	2後		2	○			
	コミュニティと音楽文化	2後		2	○			
小計 (9科目)		—	6	11	0		—	
基礎科目小計 (44科目)				30	57	0		—
発 展 科 目	現代教育論	2後		2	○			
	現代教育課題A(不登校・いじめ)	3前		2	○			
	現代教育課題B(特別支援)	3前		2	○			
	現代教育課題C(学校と安全)	3後		2	○			
	現代教育課題D(学校における異文化理解)	3後		2	○			
	幼児理解	2前		2	○			
	保育相談支援	2後		2	○			
	教育相談の理論と方法A (初等)	3後	2		○			
	教育相談の理論と方法B (中等)	3後		2	○			
小計 (9科目)			2	16	0		—	

専 門 科 目	発展科目	教育実践の理解	保育課程総論	2後		2		○		
			子どもと健康	2後		2		○		
			子どもと人間関係	2後		2		○		
			子どもと環境	2前		2		○		
			子どもと言葉	2前		2		○		
			子どもと表現(体育)	2前		2		○		
			子どもと表現(図工)	2後		2		○		
			子どもと表現(音楽)	2後		2		○		
			教育課程論A(初等)	3前	2			○		
			教育課程論B(中等)	3前		2		○		
			道徳教育の指導法A(初等)	3後	2			○		
			道徳教育の指導法B(中等)	3前		2		○		
			教育方法・技術論A(初等)	3後	2			○		
			教育方法・技術論B(中等)	3後		2		○		
			特別活動の指導法A(初等)	2前	2			○		
		特別活動の指導法B(中等)	2後		2		○			
		生徒指導・進路指導論A(初等)	2前	2			○			
		生徒指導・進路指導論B(中等)	2後		2		○			
		教育実践の理解	国語科指導法	3前	2			○		
			社会科指導法	2前	2			○		
			算数科指導法	2前	2			○		
			理科指導法	3前	2			○		
			生活科指導法	2後	2			○		
			音楽科指導法	2後	2			○		
			器楽・歌唱の指導法	3後		2			○	
			図工科指導法	2後	2			○		
			家庭科指導法	3後	2			○		
			体育科指導法	3前	2			○		
			体育実技の指導法	3後		2			○	
			総合的な学習の時間	2後		2		○		
			小学校外国語活動の指導法	2後		2			○	
			国語学Ⅱ	3前	2			○		
			国語学特論	4前	2			○		
			語学・文学総合演習Ⅰ(国語学)	3後		2			○	
			国文学Ⅱ	3前	2			○		
			国文学特論	4前	2			○		
			語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)	3後		2			○	
			漢文学Ⅱ	3前	2			○		
		漢文学特論	4前	2			○			
		語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)	3後		2			○		
		書写・書道Ⅱ	3前	2				○		
		国語科教育法Ⅰ	2後		2		○			
		国語科教育法Ⅱ	3前		2		○			
		国語科教育法Ⅲ	3前		2		○			
		国語科教育法Ⅳ	3後		2		○			
小計(45科目)	—	28	62	0		—				
教育実践の理解	教職表現力演習Ⅰ	1通年		1			○			
	教職表現力演習Ⅱ	2通年		1			○			
	小計(2科目)	—	0	2	0		—			
発展科目小計(56科目)		30	80	0		—				
演習実践科目	人間教育学演習	人間教育実践力開発演習Ⅰ	1通年		1			○		
		人間教育実践力開発演習Ⅱ	2通年		1			○		
		人間教育実践力開発演習Ⅲ	3通年		1			○		
		人間教育実践力開発演習Ⅳ	4通年		1			○		
		小計(4科目)	—	0	4	0		—		
	教育実践実習	教育実習事前事後指導(幼)	4通年		1				○	
		教育実習Ⅰ(幼)	4前		2				○	
		教育実習Ⅱ(幼)	4前		2				○	
		教育実習事前事後指導(小)	3通年	1					○	
		教育実習Ⅰ(小)	3前	2					○	
		教育実習Ⅱ(小)	3前	2					○	
		教育実習事前事後指導(中・高)	4通年		1				○	
		教育実習Ⅰ(中・高)	4前		2				○	
		教育実習Ⅱ(中)	4前		2				○	
		教職実践演習(幼・小)	4後	2					○	
教職実践演習(中・高)	4後	2					○			
小計(11科目)	—	7	12	0		—				

専門科目	演習実習科目	ゼミナール	基礎ゼミナールⅠ	1通年	2				○	
			基礎ゼミナールⅡ	2通年	2				○	
			人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	3通年		4			○	
			人間教育学ゼミナールⅡ(応用)	4通年		4			○	
			卒業研究	4後		4			○	
			小計(5科目)	—	4	12	0		—	
演習実習科目小計(20科目)				11	28	0		—		
専門科目小計(小計120科目)				71	165	0		—		
関連科目	学校図書館司書	学校経営と学校図書館	4後		2		○			
		学校図書館メディアの構成	4前		2		○			
		学習指導と学校図書館	4前		2		○			
		読書と豊かな人間性	4後		2		○			
		情報メディアの活用	4後		2		○			
	日本語教師資格	言語学概論	4前		2		○			
		社会言語学	3前		2		○			
		日本事情	3後		2		○			
		日本語教育入門	3後		2		○			
		日本語教育指導法・教材研究	4前		2		○			
		日本語教育実習事前事後指導	4前		1				○	
	日本語教育実習(国内又は海外)	4前		2				○		
関連科目小計(12科目)			—	0	23	0		—		
合計(185科目)			—	81	262	0		—		

【人間教育学科カリキュラム表 H28年度～H29年度】

人間教育学部 人間教育学科							
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態	
			必修	選択	自由	講義	演習
共通教育科目	英語Ⅰ	1・2・3・4前	1			○	
	英語Ⅱ	1・2・3・4後	1			○	
	英会話Ⅰ	1・2・3・4前	1				○
	英会話Ⅱ	1・2・3・4後	1				○
	中国語基礎Ⅰ	1・2・3・4前		1		○	
	中国語基礎Ⅱ	1・2・3・4後		1		○	
	中国語会話	1・2・3・4後		1			○
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前		1		○	
	日本語Ⅱ	1・2・3・4後		1		○	
	日本語表現Ⅰ	1・2・3・4前		1			○
	日本語表現Ⅱ	1・2・3・4後		1			○
	文学	1・2・3・4前		2		○	
	哲学	1・2・3・4前		2		○	
	倫理学	1・2・3・4後		2		○	
	心理学	1・2・3・4後		2		○	
	行動科学の基礎	1・2・3・4前		2		○	
	文化人類学	1・2・3・4前		2		○	
	感性・イメージ表現	1・2・3・4後		2		○	
	音楽の世界	1・2・3・4前		2		○	
	社会学	1・2・3・4前		2		○	
	社会科学の基礎	1・2・3・4後		2		○	
	日本国憲法	1・2・3・4後	2			○	
	外国史	1・2・3・4前		2		○	
	地理学	1・2・3・4前		2		○	
	数学の世界	1・2・3・4前		2		○	
	物理と地学の基礎	1・2・3・4後		2		○	
	環境化学の基礎	1・2・3・4前		2		○	
	実験と科学	1・2・3・4前		2		○	
	健康スポーツ(理論)	1・2・3・4前		1		○	
	健康スポーツ(実技)	1・2・3・4後		1			○
	スポーツ実技Ⅰ	1・2・3・4前			1		○
	スポーツ実技Ⅱ	1・2・3・4後			1		○
共生教育科目	共生と日本社会	1・2・3・4前		2		○	
	人権論	1・2・3・4後		2		○	
	ボランティア活動	1・2・3・4後		2		○	
	生活と環境	1・2・3・4後		2		○	
国際科目	奈良学	1・2・3・4後		2		○	
	文化コミュニケーション	1・2・3・4前		2		○	
	文化芸術交流論	1・2・3・4前		2		○	
	文化芸術交流演習	1・2・3・4後		1			○
	国際経済事情	1・2・3・4前		2		○	
情報教育科目	情報機器の操作	1・2・3・4前	2			○	
	情報倫理とセキュリティ	1・2・3・4後		2		○	
	シミュレーションの世界	1・2・3・4後		2		○	
	データの世界	1・2・3・4後		2		○	
	CGの基礎と演習	1・2・3・4前		2		○	
キャリア形成科目	キャリアデザインⅠ	1前		1			○
	キャリアデザインⅡ	1後		1			○
	キャリアディベロップメントⅠ	2前		1			○
	キャリアディベロップメントⅡ	2後		1			○
	キャリアスキルアップⅠ	3前		1			○
	キャリアスキルアップⅡ	3後		1			○
	インターンシップ	3後		2			○
共通教育科目小計(53科目)		-	10	74	0	-	-

専門科目	基礎科目	教育心理学A(初等)	2前	2		○		
		教育心理学B(中等)	2前		2	○		
		発達心理学A(初等)	1前		2	○		
		発達心理学B(中等)	1前		2	○		
		保育の心理学I	3前		2	○		
		保育の心理学II	3後		1		○	
		教育行政学A(初等)	2前	2		○		
		教育行政学B(中等)	2後		2	○		
		教職入門A(初等)	1前	2		○		
		教職入門B(中等)	1前		2	○		
		保育者論	2後		2	○		
		教育原理A(初等)	1後	2		○		
		教育原理B(中等)	1後		2	○		
		保育原理	1後		2	○		
		学力と評価	2前		2	○		
		言葉の理解	2前	2		○		
		社会の理解	1後	2		○		
		数の理解	1後	2		○		
		自然の理解	2後	2		○		
		生活の理解	1後	2		○		
		音楽の理解	1前	2		○		
		美術の理解	1前	2		○		
		衣食住の理解	2前		2	○		
		運動・健康の理解	2前	2		○		
		書写演習(小)	2後		2		○	
		器楽演習I(鍵盤楽器)	1前		2		○	
		器楽演習II(鍵盤楽器)	2後		2		○	
		器楽演習III(パーカッション)	1前		2		○	
		器楽演習IV(パーカッション)	1後		2		○	
		行動の科学	2後		2	○		
		食の心理	2後		2	○		
		国語学入門	2前	2		○		
		国語学I	2後	2		○		
		国文学入門	2前	2		○		
		国文学I	2後	2		○		
		漢文学入門	2前	2		○		
		漢文学I	2後	2		○		
		書写・書道入門	1後	2		○		
		書写・書道I	2前		2	○		
小計(39科目)			24	53	0		-	
解人	人間教育学の基礎に関する理	人間教育学I(入門)	1前	2		○		
		人間教育学II(応用)	2前	2		○		
		ことばとコミュニケーション	1後		2	○		
		教育と日本の伝統文化入門	1後	2		○		
		教育と日本の伝統文化演習	2前		1		○	
		異文化コミュニケーション	2前	2		○		
		英米文学	2前	2		○		
		英語とテレビに見る異文化	2後	2		○		
		コミュニティと音楽文化	2後	2		○		
小計(9科目)		-	6	11	0		-	
基礎科目小計(48科目)			30	64	0		-	
発展科目	現代教育・教育経営に関する理解	現代教育論	2後		2	○		
		現代教育課題A(不登校・いじめ)	3前		2	○		
		現代教育課題B(特別支援)	3前		2	○		
		現代教育課題C(学校と安全)	3後		2	○		
		現代教育課題D(学校における異文化理解)	3後		2	○		
		幼児理解	2前		2	○		
		保育相談支援	2後		2	○		
		教育相談の理論と方法A(初等)	3後	2		○		
		教育相談の理論と方法B(中等)	3後		2	○		
小計(9科目)		2	16	0		-		

専 門 科 目	発 展 科 目	保育課程総論	2後		2		○	
		保育内容総論	2前					○
		子どもと健康	2後		2		○	
		子どもと人間関係	2後		2		○	
		子どもと環境	2前		2		○	
		子どもと言葉	2前		2		○	
		子どもと表現(体育)	2前		2		○	
		子どもと表現(図工)	2後		2		○	
		子どもと表現(音楽)	2後		2		○	
		表現演習	3前		2			○
		保育内容Ⅰ(健康・人間関係)	3前		2			○
		保育内容Ⅱ(環境)	3前		2			○
		保育内容Ⅲ(言葉・表現)	3後		2			○
		教育課程論A(初等)	3前	2			○	
		教育課程論B(中等)	3前		2		○	
		道德教育の指導法A(初等)	3後	2			○	
		道德教育の指導法B(中等)	3前		2		○	
		教育方法・技術論A(初等)	3後	2			○	
		教育方法・技術論B(中等)	3後		2		○	
		特別活動の指導法A(初等)	2前	2			○	
		特別活動の指導法B(中等)	2後		2		○	
		生徒指導・進路指導論A(初等)	2前	2			○	
		生徒指導・進路指導論B(中等)	2後		2		○	
		国語科指導法	3前	2			○	
		社会科指導法	2前	2			○	
		算数科指導法	2前	2			○	
		理科指導法	3前	2			○	
		生活科指導法	2後	2			○	
		音楽科指導法	2後	2			○	
		器楽・歌唱の指導法	3後		2			○
		図工科指導法	2後	2			○	
		家庭科指導法	3後	2			○	
		体育科指導法	3前	2			○	
		体育実技の指導法	3後		2			○
		総合的な学習の時間	2後		2		○	
		小学校外国語活動の指導法	2後		2			○
		国語学Ⅱ	3前		2		○	
		国語学特論	4前		2		○	
		語学・文学総合演習Ⅰ(国語学)	3後		2			○
		国文学Ⅱ	3前		2		○	
		国文学特論	4前		2		○	
		語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)	3後		2			○
		漢文学Ⅱ	3前		2		○	
		漢文学特論	4前		2		○	
		語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)	3後		2			○
		書写・書道Ⅱ	3前		2			○
		国語科教育法Ⅰ	2後		2		○	
		国語科教育法Ⅱ	3前		2		○	
		国語科教育法Ⅲ	3前		2		○	
		国語科教育法Ⅳ	3後		2		○	
		小計(50科目)	—	28	70	0		—
		教 職 形 成 キ ャ ー	教職表現力演習Ⅰ	1通年		1		○
			教職表現力演習Ⅱ	2通年		1		○
			小計(2科目)	—	0	2	0	
発展科目小計(61科目)			30	88	0	—		

専門科目	人間教育 学 演習	人間教育実践力開発演習Ⅰ	1通年	1			○		
		人間教育実践力開発演習Ⅱ	2通年	1			○		
		人間教育実践力開発演習Ⅲ	3通年	1			○		
		人間教育実践力開発演習Ⅳ	4通年	1			○		
		小計（4科目）	—	0	4	0		—	
	演習実習科目	教育実践 実習	保育所実習Ⅰ	3前	2				○
			施設実習Ⅰ	3前	2				○
			保育実習指導Ⅰ	3前	2			○	
			保育所実習Ⅱ	3後	2				○
			施設実習Ⅱ	3後	2				○
			保育実習指導Ⅱ	3後	1			○	
			保育実習指導Ⅲ	4前	1			○	
			教育実習事前事後指導(幼)	4通年	1				○
			教育実習Ⅰ(幼)	4前	2				○
			教育実習Ⅱ(幼)	4前	2				○
			教育実習事前事後指導(小)	3通年	1				○
			教育実習Ⅰ(小)	3前	2				○
			教育実習Ⅱ(小)	3前	2				○
			教育実習事前事後指導(中・高)	4通年	1				○
			教育実習Ⅰ(中・高)	4前	2				○
			教育実習Ⅱ(中)	4前	2				○
			保育実践演習	4前	2				○
			教職実践演習(幼・小)	4後	2				○
			教職実践演習(中・高)	4後	2				○
	小計（19科目）	—	7	26	0		—		
	演習実習科目	ゼミナール	基礎ゼミナールⅠ	1通年	2				○
			基礎ゼミナールⅡ	2通年	2				○
			人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	3通年		4			○
人間教育学ゼミナールⅡ(応用)			4通年		4			○	
卒業研究			4後		4			○	
小計（5科目）			—	4	12	0		—	
演習実習科目小計（28科目）			11	42	0		—		
専門科目小計（小計137科目）			71	194	0		—		
関連科目	学校 教諭 免許 取得 図書 司書	学校経営と学校図書館	4後	2			○		
		学校図書館メディアの構成	4前	2			○		
		学習指導と学校図書館	4前	2			○		
		読書と豊かな人間性	4後	2			○		
		情報メディアの活用	4後	2			○		
	日本語 教師 資格	言語学概論	4前	2			○		
		社会言語学	3前	2			○		
		日本事情	3後	2			○		
		日本語教育入門	3後	2			○		
		日本語教育指導法・教材研究	4前	2			○		
		日本語教育実習事前事後指導	4前	1				○	
		日本語教育実習(国内又は海外)	4前	2				○	
	幼児 保育	児童家庭福祉	3前	2			○		
		社会福祉	2前	2			○		
		相談援助	3後	1				○	
		社会的養護	3後	2			○		
		子どもの保健Ⅰ	3通年	4			○		
		子どもの保健Ⅱ	4前	1				○	
		子どもの食と栄養	2前	2				○	
		家庭支援論	3後	2			○		
		乳児保育	1後	2				○	
		障害児保育	3前	2				○	
		社会的養護内容	4前	1				○	
		保育相談	3後	1				○	
関連科目小計（24科目）		—	0	41	0		—		
合計（214科目）			—	81	309	0	—		

●幼一種免許を取得するために必要な教科に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
国語	言葉の理解※	2		
算数	数の理解※	2		
生活	生活の理解※	2		
音楽	音楽の理解※	2		
図画工作	美術の理解※	2		
体育	運動・健康の理解※	2		

※印は小一種免の取得に必要な科目と重複

●幼一種免許を取得するために必要な教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
科目区分	各科目に含める必要事項	単位数		必修	選択	
教職の意義等に関する科目	<ul style="list-style-type: none"> ・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等 	2	教職入門A（初等）※	2		
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理A（初等）※	2		
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		教育心理学A（初等）※	2		
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		発達心理学A（初等）※		2	
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	18	保育課程総論	2		
	・保育内容の指導法		子どもと健康	2		
			子どもと人間関係	2		
			子どもと環境	2		
			子どもと言葉	2		
			子どもと表現（体育）	2		
			子どもと表現（図工）	2		
・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法・技術論A（初等）※	2				
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・幼児理解の理論及び方法	2	幼児理解	2		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		保育相談支援	2		
教育実習		5	教育実習事前事後指導（幼）	1		
			教育実習Ⅰ（幼）	2		
			教育実習Ⅱ（幼）	2		
教職実践演習		2	教職実践演習（幼・小）※	2		

※印は小一種免の取得に必要な科目と重複

●幼一種免許を取得するために必要な教科又は教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位数	
		必修	選択
教科又は教職に関する科目	人間教育学Ⅰ（入門）※	2	
	人間教育学Ⅱ（応用）※	2	
	現代教育課題B（特別支援）※		2
	現代教育課題C（学校と安全）※		2

- ・ ※印は小一種免の取得に必要な科目と重複
- ・ 「教科又は教職に関する科目」の選択科目 又は 最低修得単位を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて6単位以上を修得

●中一種免（国語）を取得するために必要な教科に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
国語学 （音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	国語学入門	2		
	国語学Ⅰ	2		
	国語学Ⅱ	2		
	国語学特論		2	
	語学・文学総合演習Ⅰ （国語学）	2		
	ことばとコミュニケーション	2		
国文学 （国文学史を含む。）	国文学入門	2		
	国文学Ⅰ	2		
	国文学Ⅱ	2		
	国文学特論		2	
	語学・文学総合演習Ⅱ （国文学）	2		
	文学	2		
漢文学	漢文学入門	2		
	漢文学Ⅰ	2		
	漢文学Ⅱ	2		
	漢文学特論		2	
	語学・文学総合演習Ⅲ （漢文学）	2		
書道 （書写を中心とする。）	書写・書道入門	2		
	書写・書道Ⅰ		2	
	書写・書道Ⅱ		2	

●高一種免（国語）を取得するために必要な教科に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
国語学 （音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	国語学入門	2		
	国語学Ⅰ	2		
	国語学Ⅱ	2		
	国語学特論		2	
	語学・文学総合演習Ⅰ （国語学）	2		
	ことばとコミュニケーション	2		
国文学 （国文学史を含む。）	国文学入門	2		
	国文学Ⅰ	2		

	国文学Ⅱ	2	
	国文学特論		2
	語学・文学総合演習Ⅱ (国文学)	2	
	文学	2	
	漢文学	漢文学入門	2
	漢文学Ⅰ	2	
	漢文学Ⅱ	2	
	漢文学特論		2
	語学・文学総合演習Ⅲ (漢文学)	2	

●中一種免(国語)、高一種免(国語)を取得するために本学が必要と定めている科目

科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
		必修	選択必修	
共通教育科目	中国語基礎Ⅰ		2 ^ア	アを付した科目の中から一科目選択必修。
	中国語基礎Ⅱ		2 ^ア	
	中国語会話		2 ^ア	
	奈良学	2		
関連科目	読書と豊かな人間性	2		
	言語学概論	2		
	社会言語学	2		

●中一種免(国語)又は高一種免(国語)を取得するために必要な教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目	単位数		備考
科目区分	各科目に含める必要事項	単位数		必修	選択	
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	2	教職入門B(中等)	2		
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理B(中等)	2		
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む)		教育心理学B(中等)	2		
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		発達心理学B(中等)		2	
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	中 12 ・ 高 6	教育課程論B(中等)	2		
	・各教科の指導法		国語科教育法Ⅰ	2		
			国語科教育法Ⅱ	2		
			国語科教育法Ⅲ		2	
			国語科教育法Ⅳ		2	
	・道徳の指導法		道徳教育の指導法B(中等)	2		中免のみ
・特別活動の指導法	特別活動の指導法B(中等)	2				

	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法・技術論B（中等）	2		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	4	生徒指導・進路指導論B（中等）	2		
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談の理論と方法B（中等）	2		
教育実習		中 5 ・ 高 3	教育実習事前事後指導（中・高）	1		
			教育実習Ⅰ（中・高）	2		
			教育実習Ⅱ（中）		2	中免のみ必修
教職実践演習		2	教職実践演習（中・高）	2		

●中一種免（国語）を取得するために必要な教科又は教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位数	
		必修	選択
教科又は教職に関する科目	人間教育学Ⅰ（入門）※	2	
	人間教育学Ⅱ（応用）※	2	
	現代教育課題B（特別支援）※		2
	現代教育課題C（学校と安全）※		2
	総合的な学習の時間※		2

- ・ ※印は小一種免の取得に必要な科目と重複
- ・ 「教科又は教職に関する科目」の選択科目 又は 最低修得単位を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて4単位以上修得

●高一種免（国語）を取得するために必要な教科又は教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目	単位数	
		必修	選択
教科又は教職に関する科目	人間教育学Ⅰ（入門）※	2	
	人間教育学Ⅱ（応用）※	2	
	現代教育課題B（特別支援）※		2
	現代教育課題C（学校と安全）※		2
	総合的な学習の時間※		2
	道徳教育の指導法B（中等）	2	

- ・ ※印は小一種免の取得に必要な科目と重複
- ・ 「教科又は教職に関する科目」の選択科目 又は 最低修得単位を超えて履修した「教科に関する科目」若しくは「教職に関する科目」について、併せて10単位以上修得

●幼一種免又は中一種免（国語）又は高一種免（国語）を取得するために必要な教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則第66条の6に定める科目		左記に対応する 本学の授業科目	単位数		備考
科目区分	単位数		必修	選択	
日本国憲法	2	日本国憲法※	2		
体育	2	健康スポーツ（理論）※	1		
		健康スポーツ（実技）※	1		
外国語コミュニケーション	2	英会話Ⅰ※	1		

		英会話Ⅱ※	1		
情報機器の操作	2	情報機器の操作※	2		

※印は小一種免の取得に必要な科目と重複

【看護学科カリキュラム表 H30 年度～】

●…必修 ○…選択

科目区分	科目群	授業科目の名称	単位数		配当年次	配当年次								時間数	卒業に必要な単位数	
			必修	選択		1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1		1前	●									30	25単位以上 (必修9単位を含む)
		英語Ⅱ	1		1後		●								30	
		英会話Ⅰ	1		1前	●									30	
		英会話Ⅱ	1		1後		●								30	
		中国語基礎Ⅰ		1	1-2-3-4前	○		○		○		○			30	
		中国語基礎Ⅱ		1	1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
		中国語会話		1	1-2-3-4前	○		○		○		○			30	
		スペイン語基礎Ⅰ		1	1-2-3-4前	○		○		○		○			30	
		スペイン語基礎Ⅱ		1	1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
		スペイン語会話		1	1-2-3-4前	○		○		○		○			30	
		文学		2	1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
		哲学		2	1-2-3-4前	○		○		○		○			30	
		倫理学		2	1-2-3-4前	○		○		○		○			30	
		心理学		2	1-2-3-4前	○		○		○		○			30	
		行動の科学		2	1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
		文化人類学		2	1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
		音楽の世界		2	1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
		社会学		2	1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
		日本国憲法		2	1-2-3-4前	○		○		○		○			30	
		歴史学		2	1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
		地理学		2	1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
		数学の世界		2	1-2-3-4前	○		○		○		○			30	
		自然科学の基礎		2	1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
		環境化学の基礎		2	1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
		健康スポーツ(理論)	1		1前	●									15	
		健康スポーツ(実技)	1		1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
		スポーツ実技Ⅰ	1		1-2-3-4前	○		○		○		○			30	
		スポーツ実技Ⅱ	1		1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
	共生教養	共生と社会		2	1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
		人権論		2	1-2-3-4前	○		○		○		○			30	
		ボランティア活動		2	1-2-3-4前	○		○		○		○			30	
		生活と環境		2	1-2-3-4前	○		○		○		○			30	
	奈良・国際	奈良学		2	1-2-3-4前	○		○		○		○			30	
		異文化コミュニケーション		2	1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
		国際事情		2	1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
	情報教養	情報機器の操作	2		1前	●									30	
		情報倫理とセキュリティ		2	1-2-3-4前	○		○		○		○			30	
		データの世界		2	1-2-3-4前	○		○		○		○			30	
		CGの基礎と演習		2	1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
		情報と分析		2	1-2-3-4後		○		○		○		○		30	
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ		1	1前	○									30	
		キャリアデザインⅡ		1	1後		○								30	
		キャリアディベロップメントⅠ		1	2前			○							30	
		キャリアディベロップメントⅡ		1	2後				○						30	
	準必修	基礎演習Ⅰ(ラーニングスキルズ)	1		1前	●									30	
		基礎演習Ⅱ(文章表現)	1		1後		●								30	
小計(46科目)			9	63	-											

※「中国語基礎Ⅱ」を履修するためには「中国語基礎Ⅰ」を修得していることが、「スペイン語基礎Ⅱ」を履修するためには「スペイン語基礎Ⅰ」を修得していることが必要です。

科目区分	科目群	授業科目の名称	単位数		配当年次	配当年次								時間数	卒業に必要な単位数
			必修	選択		1年		2年		3年		4年			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門基礎科目	人間の理解	人体構造機能学Ⅰ	2		1前	●								30	107単位以上 専門基礎科目必修30単位 ＋ 専門科目必修73単位 ＋ 選択科目4単位以上
		人体構造機能学Ⅱ	2		1前	●								30	
		発達心理学	2		1前	●								30	
		生化学	1		1前	●								15	
		栄養学	1		1前	●								15	
		微生物学	1		1前	●								15	
		免疫学	1		1前	●								15	
	環境の理解	疫学	2		2後				●					30	
		公衆衛生学	1		1後		●							15	
		社会福祉学	1		1前	●								15	
		医療福祉関係法規	1		1前	●								15	
		保健医療福祉行政論	2		2後				●					30	
		保健統計		2	2後				○					30	
		保健医療学概論	1		1前	●								15	
	健康の理解	病理学	1		1前	●								15	
		疾病治療論Ⅰ（呼吸器・循環器・血液造血系）	1		1後		●							30	
		疾病治療論Ⅱ（消化器・内分泌・腎尿路系）	1		1後		●							30	
		疾病治療論Ⅲ（免疫・神経系）	1		1後		●							30	
		疾病治療論Ⅳ（感覚器・運動器系）	1		1後		●							30	
		疾病治療論Ⅴ（生殖器系・精神疾患）	1		2前			●						30	
		疾病治療論Ⅵ（老年医学）	1		2前			●						30	
		小児疾病治療論	1		2前			●						30	
		栄養治療論	1		2後				●					15	
		薬理学	2		1後		●							30	
		リハビリテーション論	1		2後				●					30	
小計（25科目）			30	2	-										
専門科目	看護の考え方と方法	看護学概論	2		1前	●								30	107単位以上 専門基礎科目必修30単位 ＋ 専門科目必修73単位 ＋ 選択科目4単位以上
		看護倫理学	1		1前	●								15	
		看護コミュニケーション論	1		1前	●								30	
		基礎看護技術演習Ⅰ	2		1前	●								60	
		基礎看護技術演習Ⅱ	2		1後		●							60	
		看護理論	1		1後		●							15	
		看護過程演習	1		2前			●						30	
		ヘルスアセスメント	1		2前			●						30	
		保健医療倫理学	1		1後		●							15	
		基礎看護学実習Ⅰ	1		1前	●								45	
		基礎看護学実習Ⅱ	2		2後				●					90	
		成人看護学概論	2		1後		●							30	
		成人看護援助論Ⅰ（急性期・開手術期）	1		2前			●						30	
		成人看護援助論Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）	1		2後				●					30	
		成人看護援助論演習	2		3前					●				60	
		老年看護学概論	1		2前			●						15	
		老年看護援助論	1		2後				●					30	
		老年看護援助論演習	1		3前					●				30	
		小児看護学概論	2		2前			●						30	
		小児看護援助論	1		2後				●					30	
		小児看護援助論演習	1		3前					●				30	
		母性看護学概論	2		2前			●						30	
		母性看護援助論	1		2後				●					30	
		母性看護援助論演習	1		3前					●				30	
		精神看護学概論	1		2前			●						15	
		精神看護援助論	1		2後				●					30	
		精神看護援助論演習	1		3前					●				30	
		成人看護学実習Ⅰ（急性期・開手術期）	3		3後						●			135	
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）	3		3後						●			135	
		老年看護学実習Ⅰ	1		3後						●			45	
		老年看護学実習Ⅱ	3		3後						●			135	
		小児看護学実習	2		3後						●			90	
母性看護学実習	2		3後						●			90			
精神看護学実習	2		3後						●			90			
ターミナルケア論		1	4前							○		15			
感染看護		1	4前							○		15			
家族看護学		1	4前							○		15			
バイコントロール論		1	4前							○		15			

科目区分	科目群	授業科目の名称	単位数		配当年次	配当年次								時間数	卒業に必要な単位数	
			必修	選択		1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門科目	看護学の統合と発展	在宅看護学概論	1		2前			●						15	107単位以上 専門基礎科目必修30単位 + 専門科目必修73単位 + 選択科目4単位以上	
		在宅看護援助論	2		2後				●					60		
		在宅看護援助論演習	1		3前					●				30		
		在宅看護学実習	2		3後						●			90		
		看護管理学	2		4前							●		30		
		チーム医療論	1		4前							●		15		
		チーム医療論演習		1	4後								○	30		
		統合看護論	2		4後								●	30		
		統合看護学実習	2		4前							●		90		
		国際看護論	1		4前							●		15		
		国際看護論演習		1	4後								○	30		
		地域包括ケア論		1	4後								○	15		
		災害看護学		1	4後								○	15		
		看護教育学		1	4後								○	15		
		カウンセリング論		1	4後								○	15		
		卒業研究Ⅰ	1		4前							●		30		
		卒業研究Ⅱ	1		4前後							●	●	30		
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2		2前			●							30
			公衆衛生看護学方法論Ⅰ		2	3前					○					30
			公衆衛生看護学方法論Ⅱ		2	3前					○					30
	公衆衛生看護学Ⅰ(地域活動)		2		2後			●						30		
	公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)			2	3前					○				30		
	公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)		2		3前					●				30		
	公衆衛生看護学実習Ⅰ(地域活動)			3	4前後							○	○	135		
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)			1	4前後							○	○	45		
	公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)			1	4前後							○	○	45		
	公衆衛生看護学診断演習			2	4前							○		60		
	助産学	助産学概論	2		3前					○				30		
		ウィメンズヘルス学	2		3前					○				30		
周産期医学		1		3前					○				15			
助産診断・技術学Ⅰ		2		3前					○				30			
助産診断・技術学Ⅱ		2		3後						○			30			
助産診断・技術学Ⅲ		2		3後						○			30			
助産診断・技術学演習Ⅰ			1	3後						○			30			
助産診断・技術学演習Ⅱ			1	4前							○		30			
助産学実習Ⅰ			2	4前後							○	○	90			
助産学実習Ⅱ			4	4前後							○	○	180			
助産学実習Ⅲ			4	4前後							○	○	180			
助産学実習Ⅳ			1	4前後							○	○	45			
地域母子保健			1	4前							○		15			
助産管理論			2	4前							○		30			
小計(79科目)		73	50	—												
合計(150科目) 132単位以上		112	115	-												

●…必修
○…選択

【看護学科カリキュラム表 H26 年度～H29 年度】

科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	配当年次 ●…必修 ○…選択								時間数	卒業に 必要な 単位数	
		必修	選択		1年		2年		3年		4年				
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎 教 養	英語Ⅰ	1		1前	●									30	25 単位 以上 (必修 10 単位 を含む)
	英語Ⅱ	1		1後		●								30	
	英会話Ⅰ	1		1前	●									30	
	英会話Ⅱ	1		1後		●								30	
	中国語基礎Ⅰ		1	1・2・3・4前	○		○		○		○			30	
	中国語基礎Ⅱ		1	1・2・3・4後			○		○		○		○	30	
	中国語会話		1	1・2・3・4前	○		○		○		○			30	
	日本語Ⅰ		1	1前	○									30	
	日本語Ⅱ		1	1後		○								30	
	日本語表現Ⅰ		1	2前			○							30	
	日本語表現Ⅱ		1	2後				○						30	
	文学		2	1・2・3・4後			○		○		○		○	30	
	哲学		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		○	30	
	倫理学		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		○	30	
	心理学		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		○	30	
	行動科学の基礎		2	1・2・3・4後			○		○		○		○	30	
	文化人類学		2	1・2・3・4後			○		○		○		○	30	
	感性・イメージ表現		2	1・2・3・4後			○		○		○		○	30	
	音楽の世界		2	1・2・3・4後			○		○		○		○	30	
	社会学		2	1・2・3・4後			○		○		○		○	30	
	社会科学の基礎		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		○	30	
	日本国憲法		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		○	30	
	外国史		2	1・2・3・4後			○		○		○		○	30	
	地理学		2	1・2・3・4後			○		○		○		○	30	
	数学の世界		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		○	30	
	物理と地学の基礎		2	1・2・3・4後			○		○		○		○	30	
	環境化学の基礎		2	1・2・3・4後			○		○		○		○	30	
	実験と科学		2	1・2・3・4後			○		○		○		○	30	
	健康スポーツ(理論)	1		1・2・3・4前	●		●		●		●		●	15	
	健康スポーツ(実技)	1		1・2・3・4後		●		●		●		●		30	
	スポーツ実技Ⅰ		1	1・2・3・4前	○		○		○		○		○	30	
	スポーツ実技Ⅱ		1	1・2・3・4後		○		○		○		○	○	30	
	共 生 教 育	共生と日本社会		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30	
人権論			2	1・2・3・4前	○		○		○		○		30		
ボランティア活動			2	1・2・3・4前	○		○		○		○		30		
生活と環境			2	1・2・3・4前	○		○		○		○		30		
・ 教 育 際	奈良学	2		1・2・3・4前	●		●		●		●		30		
	文化コミュニケーション		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30		
	文化芸術交流論		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		30		
	文化芸術交流演習		1	1・2・3・4後		○		○		○		○	30		
	国際経済事情		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30		
情 報 教 育	情報機器の操作	2		1・2・3・4前	●		●		●		●		30		
	情報倫理とセキュリティ		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		30		
	シミュレーションの世界		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30		
	データの世界		2	1・2・3・4前	○		○		○		○		30		
	CGの基礎と演習		2	1・2・3・4後		○		○		○		○	30		
キ ャ リ ア 形 成	キャリアデザインⅠ		1	1前	○								30		
	キャリアデザインⅡ		1	1後	○								30		
	キャリアディベロップメントⅠ		1	2前			○						30		
	キャリアディベロップメントⅡ		1	2後			○						30		
	キャリアスキルアップⅠ		1	3前					○				30		
	キャリアスキルアップⅡ		1	4前							○		30		
小計(52科目) 25 単位以上		10	72	-											

※「中国語基礎Ⅱ」は「中国語基礎Ⅰ」を修得した者のみが履修できる。

※「文化芸術交流演習」は「文化芸術交流論」を修得した者のみが履修できる。

※「キャリアディベロップメントⅡ」は「キャリアデザインⅡ」を、「キャリアスキルアップⅠ」は「キャリアディベロップメントⅡ」を、「キャリアスキルアップⅡ」は「キャリアスキルアップⅠ」を取得した者のみが履修できる。

科目区分	履修科目の名称	単位数		配当年次	配当年次 ●…必修 ○…選択								時間数	本籍に必要な単位数
		必修	選択		1年		2年		3年		4年			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門基礎科目	保健医療学概論	1		1前	●								15	24単位以上(必修21単位を含む)
	早期体験演習	1		1前	●								30	
	人体構造学Ⅰ	1		1前	●								30	
	人体構造学Ⅱ	1		1後		●							30	
	人体機能学Ⅰ	1		1前	●								30	
	人体機能学Ⅱ	1		1後		●							30	
	生化学	1		1前	●								15	
	薬理学	2		1後		●							30	
	免疫学		1	2前			○						15	
	病理学	1		1後		●							15	
	微生物学	1		1後		●							30	
	遺伝学		1	2前			○						15	
	栄養と食生活	1		1前	●								30	
	疾病治療論Ⅰ	1		2前			●						30	
	疾病治療論Ⅱ	2		2後			●						60	
	保健学Ⅰ(公衆衛生)	1		2前			●						15	
	保健学Ⅱ(疫学)	2		2後			●						30	
	保健統計		2	3前					○				30	
	心身医療論		1	2後				○					15	
	カウンセリング論		1	2後				○					15	
	ヘルスプロモーション論		2	2前			○						30	
	社会福祉学	1		2前			●						15	
	医療福祉関係法規	2		2前			●						30	
	保健医療福祉行政論		2	3前					○				30	
小計(24科目) 24単位以上		21	10	—										
専門科目	看護学概論	2		1前	●								30	
	基礎看護技術演習Ⅰ	2		1後		●							60	
	基礎看護技術演習Ⅱ	2		2前			●						60	
	基礎看護技術演習Ⅲ	1		2前			●						30	
	看護理論	1		1後		●							15	
	看護過程演習	1		2前			●						30	
	ヘルスアセスメント	1		2前			●						15	
	チーム医療論	1		1後		●							15	
	保健医療倫理学	1		1後		●							15	
	基礎看護学実習Ⅰ	1		1後		●							45	
	基礎看護学実習Ⅱ	2		2後				●					90	
	成人看護学概論	2		2前			●						30	
	成人看護学援助論Ⅰ(急性期・手術期)	2		2後				●					30	
	成人看護学援助論Ⅱ(慢性期・回復期・終末期)	2		3前					●				30	
	老年看護学概論	2		2後				●					30	
	老年看護学援助論	2		3前					●				30	
	小児看護学概論	2		2後				●					30	
	小児看護学援助論	2		3前					●				30	
	母性看護学概論	2		2後				●					30	
	母性看護学援助論	2		3前					●				30	
	精神看護学概論	2		2後				●					30	
	精神看護学援助論	2		3前					●				30	
	成人看護学実習Ⅰ(急性期・手術期)	3		3後						●			13.5	
	成人看護学実習Ⅱ(慢性期・回復期・終末期)	3		3後						●			13.5	
	老年看護学実習Ⅰ	2		3後						●			90	
	老年看護学実習Ⅱ	2		3後						●			90	
	小児看護学実習	2		3後						●			90	
	母性看護学実習	2		3後						●			90	
	精神看護学実習	2		3後						●			90	

科目区分	授業科目の名称	単位数		配当年次	配当年次 ●…必修 ○…選択								時間数	卒業に必要な単位数	
		必修	選択		1年		2年		3年		4年				
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
看護学の統合と発展 専攻科目	在宅看護学概論	2		2後				●					30	76単位以上(必修72単位を含む)	
	在宅看護学援助論	2		3前				●					30		
	在宅看護学実習	2		3後					●				90		
	家族援助論		1	2前			○						15		
	行動変容アプローチ		1	3前				○					30		
	チーム医療演習	1		4後							●		30		
	感染症看護論		1	4前							○		15		
	災害看護論		1	4後								○	15		
	ターミナルケア論		1	4後								○	15		
	医療安全管理学	1		4後							●		15		
	看護キャリア開発論		1	4後								○	15		
	保健医療英語Ⅰ		1	2後				○					30		
	保健医療英語Ⅱ(文献講読)		1	4前							○		30		
	国際保健医療看護論	1		4前							●		15		
	国際保健医療看護演習		1	4前							○		30		
	統合看護学実習	2		4前							●		90		
	卒業研究Ⅰ	1		4前							●		15		
	卒業研究Ⅱ	1		4前後							●	●	30		
	公衆衛生看護学概論	2		2前			●						30		
	公衆衛生看護学方法論Ⅰ		2	3前					○				30		
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ		2	3前					○				30		
	公衆衛生看護学Ⅰ(地域活動)	2		2後			●						30		
	公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)		2	3前					○				30		
	公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)	2		3前					●				30		
	公衆衛生看護学実習Ⅰ(地域活動)		3	4通							○	○	135		
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)		1	4前							○		45		
	公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)		1	4前							○		45		
	公衆衛生看護学診断演習		2	4前							○		60		
	助産学概論	2		3前					○				30		
	ウイメンズヘルス学	2		3前					○				30		
	周産期医学	1		3前					○				15		
	助産診断・技術学Ⅰ	2		3前					○				30		
	助産診断・技術学Ⅱ	2		3後						○			30		
	助産診断・技術学Ⅲ	2		3後						○			30		
	助産診断・技術学演習	2		4前							○		60		
	助産診断・技術学実習Ⅰ	3		4通							○	○	135		
	助産診断・技術学実習Ⅱ	2		4通							○	○	90		
	助産診断・技術学実習Ⅲ	3		4通							○	○	135		
	助産診断・技術学実習Ⅳ	3		4通							○	○	135		
	地域母子保健	1		4前							○		15		
	助産管理論		2	4前							○		30		
	小計(70科目) 76単位以上		72	49	-										
	合計(146科目) 125単位以上		103	131	-										

②保健医療学部リハビリテーション学科
【履修モデル】

履修モデル1 (理学療法専攻)

科目区分	1年生				2年生				3年生				4年生				単位	卒業要件		
	<前 期>		<後 期>		<前 期>		<後 期>		<前 期>		<後 期>		<前 期>		<後 期>					
	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数				
基礎教養	英語I	1	英語II	1														11	必修14単位、選択14単位以上	
	英会話I	1	英会話II	1																
	心理学	2	行動の科学	2																
	健康スポーツ(理論)	1	健康スポーツ(実技)	1																
	スポーツ実技I	1																		
	共通教養	ボランティア活動	2	共生と社会	2															4
専攻 国際	保健学	2	国際事情	2														4		
	情報教養	情報機器の操作	2	情報と分析	2	情報倫理とセキュリティ	2											6		
キャリア形成	キャリアデザインI	1	キャリアデザインII	1	キャリアデザインレポートI	1	キャリアデザインレポートII	1										4		
	導入基礎	基礎ゼミI	1	基礎ゼミII	1													2		
人間の健康と生活の質の向上に貢献する	人体構造学I(総論・概論)	1	人体構造学II(内臓・生体)	1	人体構造学III(神経・運動器)	1												14	必修14単位	
	人間機能学I(運動性機能)	1	人間機能学II(運動性機能)	1	運動学II(各論)	1														
	人間発達学	1	運動学I(総論)	1	運動学実習	1														
	運動学入門	1		人体構造実習	2															
				人体生理機能実習	2															
疾病と障害の予防と治療の向上に貢献する	リハビリテーション医学	1	精神医学	1	整形外科学I(総論)	1	整形外科学II(各論)	1			救命救急学理論	1						12	必修13単位、選択12単位以上	
			痛み学概論	1	内科療法学I(総論)	1	内科療法学II(各論)	1												
			スポーツ医学	1	神経内科学	1	心療医学概論	1												
							臨床心理	1												
保健医療分野の発展に貢献する	リハビリテーション概論	1	チーム医療論	1	国際リハビリテーション論	1							先端リハビリテーション論	1				5	必修5単位	
													チーム医療論実習	1						
保健医療分野の発展に貢献する																		4	必修2単位、選択2単位以上	
保健医療分野の発展に貢献する	理学療法概論	1			臨床運動学	1	理学療法研究法	1										7	必修4単位	
保健医療分野の発展に貢献する																		6	必修6単位	
理学療法実習					基礎運動療法学	1	鍼灸療法I(各論)	1	物理療法I(総論)	1	物理療法II(各論)	1			理学療法技術概論	1		64	必修24単位	
					鍼灸療法II(総論)	1	針灸生体動作学実習	2	筋骨格系理学療法I(総論)	1	筋骨格系理学療法II(各論)	1								
					日常生活動作学	1			中枢神経系理学療法I(総論)	1	中枢神経系理学療法II(各論)	1								
									小児神経系理学療法学	1	スポーツ障害理学療法学	1								
									内科療法学理学療法学I(呼吸)	1	内科療法学理学療法学II(循環)	1								
									老年障害理学療法学	1	内科療法学理学療法学III(消化)	1								
臨床実習					情報理学療法学	1	鍼灸療法・生体運動論I(総論)	1	鍼灸療法・生体運動論II(各論)	1								5	必修5単位	
臨床実習																		22	必修12単位	
共通教育科目	必修	13	必修	5	必修	3	必修	1	必修	0	必修	0	必修	0	必修	0	必修	15		
	選択	4	選択	8	選択	3	選択	1	選択	0	選択	0	選択	0	選択	0	選択	16		
専門基礎	必修	6	必修	6	必修	11	必修	4	必修	0	必修	0	必修	0	必修	2	必修	29		
	選択	0	選択	1	選択	0	選択	0	選択	0	選択	1	選択	0	選択	0	選択	1		
専門	必修	2	必修	0	必修	5	必修	20	必修	3	必修	35	必修	15	必修	4	必修	62		
	選択	0	選択	0	選択	0	選択	0	選択	1	選択	1	選択	0	選択	0	選択	2		
合計	必修	18	必修	11	必修	17	必修	14	必修	3	必修	15	必修	15	必修	6	必修	106		
	選択	4	選択	9	選択	3	選択	1	選択	1	選択	1	選択	0	選択	0	選択	20		
	必修29	選択13	合計42		必修21	選択4	合計25		必修24	選択3	合計27		必修22	選択9	合計31		必修126	選択20	合計146	

④履修モデル1 (作業療法学科)

科目区分	1年生				2年生				3年生				4年生				単位	卒業要件
	<前 期>		<後 期>		<前 期>		<後 期>		<前 期>		<後 期>		<前 期>		<後 期>			
	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数	科目	単位数		
共通教育科目	基礎教養	1	1	1	1												11	
	英会話1	1	1	1	1													
	心理学	2	2	2	2													
	健康スポーツ(理論)	1	1	1	1													
	スポーツ実技1	1	1	1	1													
	社会教養	2	2	2	2												4	
	防災・防災	2	2	2	2												4	
	情報教養	2	2	2	2												6	
	キャリア教育	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	
	導入基礎	1	1	1	1												2	
専門基礎科目	人体解剖学Ⅰ(総論・組織学)	1	1	1	1	1	1	1	1								14	
	人体解剖学Ⅱ(臓器・生体反応)	1	1	1	1	1	1	1	1									
	人体解剖学Ⅲ(動物性機能)	1	1	1	1	1	1	1	1									
	人間発達学	1	1	1	1	1	1	1	1									
	運動学入門	1	1	1	1	1	1	1	1									
	リハビリテーション医学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
	臨床心理学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	スポーツ医学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	リハビリテーション理論	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	リハビリテーション実習	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
専門応用科目	作業療法概論	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	
	作業療法概論	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	作業療法概論	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	作業療法概論	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	作業療法概論	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	作業療法概論	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	作業療法概論	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	作業療法概論	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	作業療法概論	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	作業療法概論	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
総合科目	総合科目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	
	総合科目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	総合科目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	総合科目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	総合科目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	総合科目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	総合科目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	総合科目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	総合科目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	総合科目	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
共通教育科目	必修	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	11
	選択	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	16	
	必修	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	11	
	選択	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	24	
	必修	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	6	
	選択	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	12	
	必修	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
	選択	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	16	
	必修	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
	選択	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	16	
必修23 選択4 合計27		必修23 選択4 合計27		必修23 選択4 合計27		必修23 選択4 合計27		必修23 選択4 合計27		必修23 選択4 合計27		必修23 選択4 合計27		必修23 選択4 合計27		必修23 選択4 合計27		

【リハビリテーション学科カリキュラム表 H31年度～】

科目区分	科目群	授業科目	単位数		配当年次	配当年次								時間数	卒業に必要な単位数			
			必修	選択		1年		2年		3年		4年						
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
専 門 基 礎 科 目	人体の構造と機能及び心身の発達	人体構造学Ⅰ（総論・組織学）	1		1前	●									30	必修14単位		
		人体構造学Ⅱ（内臓・生殖器）	1		1後		●								30			
		人体構造学Ⅲ（神経・運動器）	1		1後		●								30			
		人体構造実習	2		2前			●							60			
		人体機能学Ⅰ（植物性機能）	1		1前	●									30			
		人体機能学Ⅱ（動物性機能）	1		1後		●								30			
		人体生理機能実習	2		2前			●							60			
		人間発達学	1		1前	●									30			
		運動学入門	1		1前	●									30			
		運動学Ⅰ（総論）	1		1後		●								30			
		運動学Ⅱ（各論）	1		2前			●							30			
		運動学演習	1		2前			●							30			
		専 門 基 礎 科 目	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	精神医学	1		1後		●								30	必修10単位 選択2単位 以上
				リハビリテーション医学	1		1前	●									30	
痛み学概論	1				1後		●							30				
整形外科学Ⅰ（総論）	1				2前			●						30				
整形外科学Ⅱ（各論）	1				2後			●						30				
内部障害学Ⅰ（総論）	1				2前			●						30				
内部障害学Ⅱ（各論）	1				2後			●						30				
神経内科学	1				2前			●						30				
心身医学概論	1				2後			●						30				
臨床心理	1				2後			●						30				
スポーツ医学				1	1後		○							30				
薬理学概論				1	2後				○					30				
救命救急学概論				1	3後						○			30				
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン の 理 念	保健医療福祉とリハビリテーションの理念			リハビリテーション概論	1		1前	●							15	必修 5単位		
		先端リハビリテーション論	1		4後						●		30					
		チーム医療論	1		1後		●						15					
		チーム医療論演習	1		4後							●	30					
		国際リハビリテーション論	1		2前			●					30					
		小計（30科目）	29	3	—													
専 門 科 目 （ 両 専 攻 ）	共通専門	医療リスクマネジメント	1		3後					●			15	必修2単位 選択2単位 以上				
		職場管理論	1		4後							●	15					
		疼痛リハビリテーション学		1	3前					○			30					
		リハビリテーション行動科学		1	3後						○		30					
		ウイメンズヘルスケア		1	3前					○			30					
		認知発達障害ケア		1	3後						○		30					

科目区分	科目群	授業科目	単位数		配当年次	配当年次								時間数	卒業に必要な単位数	
			必修	選択		1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
共通教育科目	基礎教養	英語Ⅰ	1		1前	●									30	必修15単位 選択16単位 以上
		英語Ⅱ	1		1後		●								30	
		英会話Ⅰ	1		1前	●									30	
		英会話Ⅱ	1		1後		●								30	
		中国語基礎Ⅰ		1	1前	○		○		○		○			30	
		中国語基礎Ⅱ		1	1後		○		○		○		○		30	
		中国語会話		1	1前	○		○		○		○			30	
		スペイン語基礎Ⅰ		1	1前	○		○		○		○			30	
		スペイン語基礎Ⅱ		1	1後		○		○		○		○		30	
		スペイン語会話		1	1前	○		○		○		○			30	
		文学		2	1後		○		○		○		○		30	
		哲学		2	1前	○		○		○		○			30	
		倫理学		2	1前	○		○		○		○			30	
		心理学	2		1前	●									30	
		行動の科学		2	1後		○		○		○		○		30	
		文化人類学		2	1後		○		○		○		○		30	
		音楽の世界		2	1後		○		○		○		○		30	
		社会学		2	1後		○		○		○		○		30	
		日本国憲法		2	1前	○				○		○			30	
		歴史学		2	1後		○				○		○		30	
		地理学		2	1後		○				○		○		30	
		数学の世界		2	1前	○		○		○		○			30	
		自然科学の基礎		2	1後		○		○		○		○		30	
		環境化学の基礎		2	1後		○		○		○		○		30	
		健康スポーツ（理論）	1		1前	●									15	
		健康スポーツ（実技）		1	1後		○								30	
		スポーツ実技Ⅰ		1	1前	○		○		○		○			30	
		スポーツ実技Ⅱ		1	1後		○				○		○		30	
	共生教養	共生と社会		2	1後		○							30		
		人権論		2	1前	○				○		○		30		
		ボランティア活動	2		1前	●								30		
		生活と環境		2	1前	○		○		○		○		30		
	奈良国際	奈良学		2	1前	○		○		○		○		30		
		異文化コミュニケーション		2	1後		○			○		○		30		
		国際事情	2		1後		●							30		
	情報教養	情報機器の操作	2		1前	●								30		
		情報倫理とセキュリティ		2	1前	○		○		○		○		30		
		データの世界		2	1前	○		○		○		○		30		
		情報と分析		2	1後		○		○		○			30		
		CGの基礎と演習		2	1後		○		○		○			30		
	キャリア形成	キャリアデザインⅠ		1	1前	○								30		
		キャリアデザインⅡ		1	1後		○							30		
		キャリアディベロップメントⅠ		1	2前			○						30		
		キャリアディベロップメントⅡ		1	2後				○					30		
	導入基礎	基礎ゼミⅠ	1		1前	●								30		
		基礎ゼミⅡ	1		1後		●							30		
小計（46科目）			15	57	—											

科目区分	科目群	授業科目	単位数		配当年次	配当年次								時間数	卒業に必要な単位数
			必修	選択		1年		2年		3年		4年			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門科目（理学療法専攻）	基礎理学療法学	理学療法概論	1		1前	●								30	必修7単位
		臨床運動学	1		2後			●						30	
		理学療法研究法	1		3前					●				30	
		客観的臨床能力演習（理学療法）	2		3後						●			30	
		理学療法卒業研究	2		4後								●	30	
	理学療法評価学	理学療法評価学	1		2前			●						30	必修6単位
		運動器障害評価学	1		2後			●						30	
		神経障害評価学	1		2前			●						30	
		内部障害評価学	1		2後			●						30	
		理学療法計画論	2		3後						●			30	
	理学療法治療学	基礎運動療法学	1		2前			●						15	必修20単位
		義肢装具学Ⅰ（総論）	1		2前			●						30	
		義肢装具学Ⅱ（各論）	1		2後			●						30	
		物理療法学Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		物理療法学Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		筋骨格障害理学療法Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		筋骨格障害理学療法Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		中枢神経障害理学療法Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		中枢神経障害理学療法Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		小児期障害理学療法	1		3前					●				30	
		スポーツ障害理学療法	1		3後						●			30	
		内部障害理学療法Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		内部障害理学療法Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
		内部障害理学療法演習	1		3後						●			30	
		老年期障害理学療法	1		3前					●				30	
		神経筋障害理学療法	1		3後						●			30	
		日常生活動作学	1		2前				●					30	
		日常生活動作学演習	2		2後				●					30	
		理学療法技術特論	1		4後								●	30	
	地域理学療法	地域理学療法	1		2前				●					30	必修5単位
		地域理学療法演習	2		2後				●					30	
		福祉用具・生活環境論Ⅰ（総論）	1		3前					●				30	
		福祉用具・生活環境論Ⅱ（各論）	1		3後						●			30	
	臨床実習	早期体験実習（理学療法）	1		1前	●								45	必修22単位
		地域理学療法実習	2		2後				●					90	
		理学療法評価実習	3		3後						●			135	
		総合臨床実習Ⅰ（理学療法）	8		4前							●		360	
		総合臨床実習Ⅱ（理学療法）	8		4前							●		360	
	小計（44科目）		62	4	—										

科目区分	科目群	授業科目	単位数		配当年次	配当年次								時間数	本業に必要な単位数
			必修	選択		1年		2年		3年		4年			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門科目(作業療法学専攻)	基礎作業療法学	作業療法概論	1		1前	●								30	必修8単位
		基礎作業学	1		2前		●							30	
		作業技術学Ⅰ	1		2後			●						30	
		作業技術学Ⅱ	1		2後			●						30	
		作業療法研究法	1		3前				●					30	
		作業療法卒業研究	2		4後							●		30	
		客観的臨床能力演習(作業療法)	1		3後						●			30	
	作業療法評価学	作業療法評価学Ⅰ(身体)	1		2前		●							30	必修5単位
		作業療法評価学Ⅱ(精神)	1		2前		●							30	
		作業療法評価学演習Ⅰ(身体)	1		2後			●						30	
		作業療法評価学演習Ⅱ(精神)	1		2後			●						30	
		作業療法総合演習	1		3後							●		30	
	作業療法治療学	身体障害作業療法Ⅰ(総論・脳神経系)	1		2前		●							30	必修20単位
		身体障害作業療法Ⅱ(運動器・難病)	1		2前		●							30	
		身体障害作業療法Ⅲ(応用)	1		2後			●						30	
		精神障害作業療法Ⅰ(総論)	1		3前				●					30	
		精神障害作業療法Ⅱ(各論)	1		3後					●				30	
		発達障害作業療法Ⅰ(総論)	1		2後			●						30	
		発達障害作業療法Ⅱ(各論)	1		3前				●					30	
		老年期障害作業療法Ⅰ(総論)	1		3前				●					30	
		老年期障害作業療法Ⅱ(各論)	1		3後					●				30	
		高次脳機能障害作業療法Ⅰ(総論)	1		3前					●				30	
		高次脳機能障害作業療法Ⅱ(各論)	1		3後						●			30	
		日常生活支援学Ⅰ(総論)	1		3前					●				30	
		日常生活支援学Ⅱ(各論)	1		3後						●			30	
		作業療法特論Ⅰ(身体障害)	1		3前					●				15	
		作業療法特論Ⅱ(精神障害)	1		3後						●			15	
		作業療法特論Ⅲ(発達障害)	1		3前					●				15	
		作業療法特論Ⅳ(老年期障害)	1		3後						●			15	
		作業療法特論Ⅴ(高次脳機能障害)	1		3後						●			15	
		義肢装具学	2		3前						●			30	
	地域作業療法学	地域作業療法Ⅰ(総論)	2		2前				●					30	必修4単位
		地域作業療法Ⅱ(各論)	1		2後					●				30	
		生活環境整備論	1		3後						●			30	
	臨床実習	早期体験実習(作業療法)	1		1前	●								45	必修23単位
		地域作業療法実習	2		2後			●						90	
		検査・測定実習	1		3前				●					45	
		作業療法評価実習	3		3後						●			135	
		総合臨床実習Ⅰ(作業療法)	8		4前							●		360	
		総合臨床実習Ⅱ(作業療法)	8		4前							●		360	
	小計(46科目)			62	4	—									
	理学療法学専攻 合計(120科目)126単位以上 作業療法学専攻 合計(122科目)126単位以上			106	64	—									

【看護学研究科看護学専攻カリキュラム表】

看護学研究科看護学専攻

科目区分		授業科目の名称	単位数	
			必修	選択
基盤科目		国際医療特論	2	
		国際看護特論		2
		ヘルスプロモーション特論		2
		看護倫理特論	2	
		コンサルテーション論		2
		看護理論特論		2
		看護教育学特論		2
		看護管理学特論		2
		臨床薬理学		2
		病態生理学		2
		フィジカルアセスメント		2
		看護研究特論	2	
専門科目	在宅看護学 分野	在宅看護学特論Ⅰ（在宅看護学）		2
		在宅看護学特論Ⅱ（慢性期）		2
		在宅看護学特論Ⅲ（回復支援）		2
		在宅看護学特論Ⅳ（地域包括支援）		2
		在宅看護学特論演習		2
	育成看護学 分野	育成看護学特論Ⅰ（発達支援）		2
		育成看護学特論Ⅱ（次世代育成支援）		2
		育成看護学特論Ⅲ（リプロダクティブヘルス・ケア）		2
		育成看護学特論Ⅳ（家族支援）		2
		育成看護学特論演習		2
	精神看護学 分野（CNS）	精神看護学特論Ⅰ（歴史・法制度）		2
		精神看護学特論Ⅱ（精神・身体状態の評価）		2
		精神看護学特論Ⅲ（精神科治療技法）		2
		精神看護学特論Ⅳ（精神看護理論、援助技法）		2
		地域移行支援精神看護学特論		2
		急性期精神看護学特論		2
		精神看護学演習Ⅰ（精神科治療技法）		2
		精神看護学演習Ⅱ（精神看護理論、援助技法）		2
		精神看護学実習 アセスメント		2
		精神看護専門看護師役割実習		2
直接ケア実習		4		
上級直接ケア実習		2		
研究科目	特別研究		8	
	課題研究		4	

6. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

■ 人間教育学部 人間教育学科

共通教育科目		専門科目				関連科目	合 計
必修・選択	小計	基礎必修 必修・選択	発展科目 必修・選択	演習実習科目 必修・選択	小計	選択	
26 単位	26 単位	32 単位(注1)	47 単位(注2)	19 単位	98 単位	(注3)	124 単位
(注1) 専門科目の基礎科目において、卒業に必要な単位数を超えて修得した場合、その超えた単位数は専門科目の発展科目の単位数として認められる。 (注2) 専門科目の発展科目において、卒業に必要な単位数を超えて修得した場合、その超えた単位数は専門科目の演習実習科目の単位数として認められる。 (注3) 関連科目において、修得した単位数は専門科目の単位として認められる。 (注4) 専門科目において、卒業に必要な単位数を超えて修得した場合、その超えた単位数の8 単位を限度として、共通教育科目の単位として認められる。							

■ 保健医療学部 看護学科

共通教育科目		専門基礎科目	専門科目	専門基礎科目および専門科目	合計
必修・選択	小計	必修	必修	選択	
25 単位	25 単位	30 単位	73 単位	4 単位	107 単位

■ 保健医療学部 リハビリテーション学科

共通教育科目		専門基礎科目	専門科目	専門基礎科目および専門科目	合計
必修・選択	小計	必修	必修	選択	
25 単位	25 単位	30 単位	73 単位	4 単位	107 単位

■ 大学院 看護学研究科 看護学専攻

基盤科目	専門科目	研究科目	合計
必修・選択	選択	選択	
12 科目	22 科目	2 科目	36 科目

7. 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

大学名	キャンパス	学部	所在地	主な交通手段
奈良学園大学	三郷 キャンパス	人間教育学部	奈良県生駒郡三郷町立野北三丁目12番1号	JR「三郷駅」より徒歩約15分 JR「三郷駅」より「奈良学園大学」行きバス約3分
	登美ヶ丘 キャンパス	保健医療学部 大学院看護学研究科	奈良県奈良市中登美ヶ丘3丁目15番1号	近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘」駅から西へ約1,000m 近鉄奈良線「学園前」駅から奈良交通バスで約9分「中登美ヶ丘四丁目」下車、東へ約150m

7. 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

【奈良学園大学 三郷キャンパス】

○キャンパスの概要

館	使用目的	種類	面積 (㎡)	主要施設
1号館	講義棟	講義室	571.19	2階 (201 教室) 3階 (301・302 教室)
		演習室	49.04	2階 (プロジェクト室 2・4)
		研究室	1,345.79	2階 (第1～18 研究室) 3階 (第19～47 研究室)
2号館	学生厚生棟	事務室	661.73	1階 理事長室・事務局長室・総務部・財務部・経理課・入試広報課・法人事務局次長室・学校法人奈良学園事務局 2階 監事室・監査室・理事室
		食堂	669.54	1階 (カトル・セゾン)
		購買室	288.63	1階 (ヤマザキ Y ショップ)
		談話室	105.03	2階 (国際交流室兼談話室)
		学友会関連室 クラブ関連室	186.33	3階 (学友会室・公認連合本部会室・資料室・ミーティング室)
5号館	講義棟	事務室	296.95	2階 (教務課・社会・国際連携センター・学生支援センター)
		事務室	199.07	1階 (キャリアセンター)
		講義室	3,442.26	1階 (516 教室) 2階 (521・522・525・527・529・5210～5215 教室) 3階 (531～539・5311～5318 教室)
		実習室	1,286.61	1階 (511 教室 [和室]・512 教室 [幼小接続室] 513 教室 [理科室]・514 教室 [調理室] 515 教室 [被服室]・517 教室 [図工室])
		PC 教室	93.99	2階 (526 教室)
		演習室	688.71	演習使用教室 1階 (演習室 1・2) (書写・書道演習室) 2階 (演習室 3～6) 3階 (演習室 9・第12～17 演習室)
		研究室	448.03	2階 (第65～78 研究室) 3階 (第79～81 研究室)
6号館	情報教育棟	PC 教室	582.41	1階 (611 教室) 2階 (621 教室) 3階 (631・632 教室)
		演習室	53.26	2階 (演習室 1・2)
		研究室	69.29	3階 (第86～88 研究室)
		事務室	25.76	法人財務部管理課
		7号館	図書館	閲覧室
		学習室	155.38	グループ学習室・研究個室
		書庫	375.72	地下1・2階 (集密書庫)
		事務室	119.73	図書館事務室・保管室
8号館	スポーツ交流施設棟	スポーツ交流室	470.88	1階 (ミーティング室・トレーニング室) 2階 (ラウンジ・ロッカー室)
		事務室	900	1階 指導者控室
10号館	情報教育棟	講義室	610.32	2階 (1021 教室・1022 教室) 3階 (1033 教室・討論室)
		実習室	381.21	1階 (1014 教室 [スタジオ]) 2階 (個人レッスン室 1～17・ピアノレッスン室 1～3)

		PC 教室	154.00	3階 (1031A/B)
		演習室	506.40	1階 (1011 教室 [器楽演習室] ・1012 教室 [メディア演習室] プロジェクト室7) 2階 (プロジェクト室8) 3階 (ML 教室)
		研究室	109.18	第112～116 研究室

【奈良学園大学 登美ヶ丘キャンパス】

○キャンパスの概要

館	使用目的	種類	面積 (㎡)	主要施設
1号館	講義棟	講義室	1046.44	4階 (401～403・405～409 教室)
		実習室	1541.42	1階 (義肢装具実習室、運動学習実習室、運動療法実習室) 2階 (金工・木工・陶工実習室、物理療法実習室、水治療実習室、運動整理実習室、基礎医学実習室、多機能実習室、ADL 実習室)
		PC 教室	334.16	5階 (501・502 教室 [マルチメディア教室1・2])
		研究室	1263.4	2階 (第1～21 研究室) 3階 (第1～32 研究室・院生研究室)
		事務室	391.14	1階 (総務課・経理課・入試広報課・教務課・キャリアセンター・ 学生支援センター)
2号館	講義棟 学生厚生棟	講義室	1302.46	4階 (2401～2407 教室) 5階 (2501・2502 教室)
		実習室	936.48	3階 (地域・在宅・老年看護学自習室／基礎・成人看護学実習室 母性・小児看護学自習室／助産実習室)
		演習室	427.74	5階 (演習室1～10)
		図書室	762.04	1階 (開架書架・集密書架・図書準備室) 2階 (開架書架・学習室1・学習室2)
		食堂	408.13	2階

8. 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

学生納付金に関する情報

大学名	学部	入学金		授業料		(その他の費用) 教育充実費	
		金額	納入時期	金額	納入時期	金額	納入時期
奈良学園大学	人間教育学部	¥300,000	入学時 (入学試験毎)	【前期】			
				¥425,000	5月7日	¥160,000	5月7日
				【後期】			
				¥425,000	10月31日	¥160,000	10月31日
	保健医療学部	¥300,000	入学時 (入学試験毎)	【前期】			
				¥425,000	5月7日	¥325,000	5月7日
				【後期】			
				¥425,000	10月31日	¥325,000	10月31日
	大学院 看護学研究科 看護学専攻	¥200,000	入学時 (入学試験毎)	【前期】			
				¥217,500	4月中	¥157,500	4月中
				【後期】			
				¥217,500	10月中	¥157,500	10月中
学部共通	【奨学金給付制度の概要】 ・奈良学園大学の給付型奨学金制度 一般学生奨学金 スポーツ学生奨学金 私費外国人留学生奨学金 学園内進学者奨学金 ファミリー進学者奨励金 家計急変時支援奨学金 課外活動奨励金 留学支援奨励金 放送大学受講学生奨励金						

※人間教育学部・保健医療学部の主な諸会費(年額)：後援会費25,000円、学友会費5,000円 他

※人間教育学部・保健医療学部は、編入学定員を設けていないが、若干名の受け入れを行うことがある。

※人間教育学部は専修もしくは履修によって別途実習費を徴収する。

※保健医療学部において、助産師課程を選択する場合は4年次において、実習費年額300,000円を徴収する(納入期限5月7日)

※大学院看護学研究科において、CNSを履修するコース選択者は、2年次において実習費年額100,000円を徴収する(納入期限4月中)

※大学院看護学研究科において、奈良学園大学卒業生は入学金金額は50,000円となる。

※大学院看護学研究科長期履修学生(3年間)については別に定める。

9. 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<学生支援組織>

項目	組織等	機能
キャリア支援 就職支援	キャリアセンター	リメディアル教育 就職指導進路情報の調査、収集、整備及び保管 求人先の開拓及び連絡 就職の斡旋 進路指導(ガイダンス・各種就職関連セミナーの実施、個人面談・相談)
進学支援	キャリアセンター	進学先情報の調査、収集、整備及び保管
修学支援	教員及び教務課	履修登録をはじめとする、学生の修学関連業務全般
生活支援(住居、アルバイト等)	学生支援センター	住居、アルバイト情報の収集、保管、相談及び紹介
経済支援		日本学生支援機構奨学金の相談、各種手続き 奈良学園大学奨学金の相談、手続き
保健・衛生・メンタルヘルス等の健康支援と学生の福利厚生		学生の「心・身体・学び」を支援 分野を横断した幅広い学生相談、健康診断及び保健衛生相談および快適な学び環境の支援

<奈良学園大学 奨学金>

規程	対象学生	種類	型	入学金		授業料			教育充実費				その他	
				半額	全額	1/4	半額	3/4	全額	1/4	半額	3/4		全額
奈良学園大学一般学生奨学金規程	一般学生で学業成績優秀者 入試成績優秀者	一般学生奨学金	I型	※①					○				○	
			II型	※①				○					○	
			III型	※①			○					○		
			IV型	※①	○						○			
			V型	※①										
奈良学園大学スポーツ学生奨学金規程	スポーツ等課外活動を行う学生	スポーツ学生奨学金	I型	※①					○				○	
			II型	※①				○					○	
			III型	※①			○					○		
			IV型	※①	○						○			
			V型	※①										
奈良学園大学私費外国人留学生奨学金規程	私費外国人留学生	私費外国人留学生奨学金	I型	※③					○				○	
			II型	※③				○					○	
			III型	※③			○					○		
			IV型	※③	○						○			
			V型	※③										
奈良学園大学における奈良学園内進学者に対する奨励金内規	学園内進学者	内部進学者奨励金			○									
奈良学園大学におけるファミリー進学者に対する奨励金内規	本学を卒業した者及び在籍中の者の直系親族又は兄弟（姉妹を含む）	ファミリー進学者奨励金			○									
奈良学園大学家計急変時支援奨励金規程	家計急変のため学業継続に支援を必要とする学生	家計急変時支援奨励金												※④
奈良学園大学課外活動奨励金規程	学長が認める課外活動等を行う学生	課外活動奨励奨励金												※⑤
奈良学園大学留学支援奨励金規程	学長が認める海外留学等を行う学生	留学支援奨励奨励金												※⑥
奈良学園大学における放送大学開講科目受講者に対する奨励金内規	放送大学受講生	放送大学受講生奨励金												※⑦

※① 入学金の相当額を給付することがある。

※② 学長が定めた額を給付する。

※③ 入学金の2分の1以内の額を給付することがある。

※④ 在籍中1回限りで年額30万円以内を給付する。給付期間は最大1年間。

※⑤ 10万円以内を給付する。

※⑥ 10万円以内を給付する。

※⑦ 放送大学の開講する授業科目を受講するために必要な授業料1科目（2単位）11,000円の2分の1の額を、各学期に2科目（4単位）分を上限として単位修得の確認後に給付する。

国などからの借入と卒業した奨学生からの返還金により成り立っている貸与型の奨学金制度

● 奨学金の種類

① 第一種奨学金（無利子）

特に優れた学生及び生徒で、経済的理由により著しく修学困難な人に貸与することができます。

② 第二種奨学金（有利子で年3%が上限）

第一種奨学金より緩やかな基準によって選考された人に貸与することができます。

● 申請時期

- ・ 予約採用・・・高校時に申し込み
- ・ 定期採用・・・毎年4月（令和元年度分は受付終了） ※全学年対象
- ・ 随時・・・緊急採用（第一種）、応急採用（第二種）

失職、破産、事故、病気、死亡等により、緊急に奨学金の貸与が必要になった場合は、緊急採用（第一種）・応急採用（第二種）がありますので、学生支援センターへご相談ください。

● 貸与月額（令和元年度採用者の場合）

		第一種（無利子）	第二種（有利子）
学部生	自宅通学	20,000 円、30,000 円 40,000 円、54,000 円	月額 20,000 円～120,000 円 (10,000 円刻み)
	自宅外通学	20,000 円、30,000 円 40,000 円、50,000 円 64,000 円	

10. 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

【人間教育学部人間教育学科】

<教育目標>

「社会の中で一人の人間」として生き抜く力となる豊かな「人間力」を基盤とする、柔軟な「教育力」と高度な「実践力」を備えた「教育者」（広く社会の教育活動にかかわる人材）の養成を目的とする

<ポリシー>

(1) カリキュラムポリシー

- ① 広く豊かな社会的常識をもち、人間的社会的に成熟した人を育てる教育
- ② 教育に対する使命感と情熱をもち、子どもと教育的な関係を築く力をつける教育
- ③ 教育の専門家として各教科の内容及び指導法を実践的に深める教育
- ④ 個々の子どもを理解し一人一人を生かすとともに集団を指導する力を身につける教育
- ⑤ 自己教育力をもち、セルフマネジメント能力と生涯学習能力を身につける教育
- ⑥ 学校内外の人々と連携しチームとして活動できる力を身につける教育
- ⑦ 日本の伝統文化を深く理解し、国際的な感覚を身につける教育

(2) ディプロマポリシー

- ① 広く豊かな社会的常識をもち、人間的社会的に成熟している
- ② 教職に対する使命感をもち、児童生徒に教育的な愛を持って接することができる
- ③ 学校現場の様々な教育課題に適切に対応し、チームとして行動することができる
- ④ 子どもの発達に応じて授業を構想し指導を工夫する教育の専門家である
- ⑤ 自己の学習を振り返り、理論と実践を結びつけた研修を継続的にできる
- ⑥ 保護者や地域の人等、学校外の人等と広く連携する力を身につけている
- ⑦ 日本の伝統文化を深く理解し、国際的な感覚を身につけている

人間教育学部は、人間力・教育力・実践力を備えた義務教育学校教員を養成することを第一の目的にしている。さらに小学校に接続する幼稚園教諭、または中学校・高等学校の基盤となる国語・数学と豊かな感性を育む音楽の教諭を養成することも目的としている。そのために以下のような特徴ある教育課程を編成するとともに、様々な方法で一人ひとりの学生を支援している。

(1) 大学生活への適応と支援

入学時に基礎ゼミナールを中心として、学内・学外オリエンテーションを行い、大学に早期に適応できるように、学習面や生活面で個人指導を重視し、少人数のクラス担任制を取り入れている。特に1年生には副担任を配置し手厚く学生を支援している。1年次5月には全員面談を行い、個々の学生の進路も含め、高校から大学への段差の解消に努めている。個々の学生の動向を、学部全教員が毎月の教授会や連絡会等で共通理解し、さらに学力的に不十分な点は個人補習を実施し、特に数学の基礎力をつけている。

大学の学習のルールと規律の徹底化を図り、すべての授業で、授業開始と終了時に全員が起立して教員とともに挨拶を行っている。さらに、各授業で数名のSAを学生から立候補で決定し、授業の進行等で中心的な役割を担っている。

また、授業中に課題を与え提出を必ず全員に求めるなど、学習や苦手なことから逃げずに忍耐強く取り組むような姿勢を身につけさせている。課題を提出できない学生に対し、授業以外に個別に呼び出して、特別に補習を行いサポートしている。

講義では、1年次で初等と中等の両方の教職入門や教育原理や教育心理を設置し、自分自身の進路を考える機会としている。さらに全国で唯一の人間教育学の授業を実施し、個人としてまた社会人としての、今後の生き方について考えさせる場を設けている。

(2) コミュニケーション力育成

1・2年次と2年間を通し、国語の「話す・聞く・読む・書く」の4分野の言語力を取得するため、60コマの「教職表現力演習」の授業を少人数で展開している。学んだ成果を試すための「スピーチコンテスト」「自分新聞作成」等のイベントを実施し、長期間に及ぶ授業を個々の学生が目標を持って取り組める工夫を行っている。表現場面では、自己評価や相互評価を取り入れ、目標を意識した評価ができる学生を養成している。各授業でも、座学だけでなく活動したこ

とを振り返りそれを文章化することを重視した教員と学生の相互交流のある授業を盛んに行っている。これらの振り返り活動を通して、授業はPDACというサイクルで行われることを学生は体感している。

これは上位年次に課せられるレポートや論文の書き方を学ぶことを目的としているとともに、教師や指導者として児童・生徒の前に立つ際の基本的なコミュニケーションの基礎の養成と定着を図るものである。また、教育は保護者や地域の人々との連携がなくしては成立しないものなので、そのツールとしての重要な役割も果たすものである。

(3) 教育実習に役立つ実践力の育成

1年次から4年次まで「人間教育実践力開発演習」が教育課程内に位置づけられている。

この科目は、学校に学生が出向き実際の教育活動への指導補助を通して、教員の仕事の意味や子ども理解の方法等を体験的に学ぶことを目的としている。1年次からのこの体験学習を通して、3年次または4年次で4週間の教育実習に全員の学生が安心感をもって出かける。教育実習前の事前準備として学校の様子に慣れ親しみ、児童・生徒の理解を深め、学生は教育実習に当たり精神的な不安感を減少させ意欲的に実習に取り組むことができる。

(4) 各教科指導の模擬授業

2年次から3年次にかけて、各教科指導法の学習の多くが実施される。教科指導法は約40人を1クラスとして全員が模擬授業を経験するようになる。模擬授業では、教材解釈から始まり板書や指導案の書き方も含め、学生が教師役と児童・生徒役等にわかれ、お互いの授業を評価し改善し合う。しかし、実際の授業においては、児童・生徒の発達段階に応じた好ましい学級経営が不可欠である。そのため、教育心理学や発達心理学の授業を通して、発達段階に応じた言葉かけや、児童・生徒一人ひとりへの対応方法を学ぶとともに、授業の方法技術を向上させることを狙いとする。

また、各教科以外の学校教育で必要な課題教育の講義も多く設定しているので、各教科の学習と関連付けながら教員志望者としての人間の幅を広げることが可能である。

(5) 出口を意識したキャリア教育の実施

1年次から4年次までキャリア教育を実施している。キャリア教育の時間は1年次からスーツを着用して授業を受けたり、少人数に分かれて自己分析をしたり、卒業後の進路を強く意識し指導が行われている。3年次からは、卒業後の進路別の授業となる。大きくは教員志望者とその他の企業志望者とに分かれ、さらに教員志望は幼稚園・小学校・中学校・高等学校に分かれ、その他の企業は、一般公務員、民間企業等に分かれる。これらの進路に合わせた細かい課外講座を準備している。課外講座は希望制であるが、出欠については、課題講座の担当者や専門ゼミナールの担任を通して指導をする。専門ゼミナールの教員は各自の卒業論文の指導はもちろん、社会人としての常識的なマナーや振る舞いができるように、出口を意識した指導をする。

(6) 保護者個別懇談会の実施

学生と家庭と大学の3者が連携し、学生の人間としての成長を保障するシステムとして、年2回の保護者個別懇談会を実施している。1・2年生は9月に、3年生は就職活動が開始する11月に実施している。前者は学生の学修状況やその成果等について、後者は学生の卒業後の進路やそのための取組等が懇談内容である。懇談会当日に参加できない保護者には、後日電話個別懇談を実施している。この成果として、人間教育学部の学生の就労意識は、高くなっており、卒業後の進路についての意欲も高い。

(7) 学生の授業への満足度向上のとりくみ

開かれた教育課程をめざしている。ハード面では、授業の教室の壁面をガラス張りにして、学生の学修状況が内部や外部の人々から観察できるようにしている。当初は学生の注意力が低下する等の反対意見もあったが、現在では定着し、かえって学生の良い緊張感となって学習効果を上げている。学生は、自分が履修していない科目でも、興味があれば自由に参観することができる。各教員も、いわゆるFD期間だけでなく、授業開講期間は、お互いの授業を自由に参観し交流できる。また、特定の授業科目を全教員で参観し、教授会後に授業研究会を開催し、教員の授業力向上に努めている。これは学生の授業への満足度向上に貢献している。

【保健医療学部看護学科】

<教育目標>

幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力をそなえ、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につけた質の高い保健医療職者の育成を目的とする。

<ポリシー>

(1) カリキュラムポリシー

- ①豊かな人間性や国際的感覚、汎用的能力を育むための科目を、1年次から4年次までを通して配する。
- ②看護専門職者として、対象となる個や集団を理解し、倫理的態度を基本に全人的看護ケアを実践する力を育むための科目を段階的に配する。
- ③専門性を発揮しながら、多職種と協働できる力を育むための科目を配する。
- ④看護専門職者として自己研鑽できる力を育むための科目を配する。

(2) ディプロマポリシー

- ①国際的な視点を持ち、幅広い教養と豊かな人間性、変化に対応できる汎用的能力など確かな学士力を有することができる。
- ②看護職として個別的で多様な保健医療ニーズに倫理的配慮をもって応えることができる。
- ③人間愛に基づき「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、協調性などを備え、主体的に全人的ケアができる。
- ④学際性を培い、専門性を発揮しながら他職種と連携・協働し、チーム医療を推進することにより社会に貢献できる。

保健医療学部は、今後の社会の要請に応えるべく、高度化、複雑化、グローバル化する多様な保健医療ニーズに個別的に対応するため、幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力など、確かな「学士力」を備え、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につけた、チーム医療の一員として、他職種と協働して人類・社会に貢献できる質の高い保健医療職者の育成を目的としている。

(1) リアルシュミレーション演習設備

「ICU実習室」を完備し、実践さながらの演習に取り組むことができる。充実したシュミレーションモデルを整備し、アセスメントから高度な手技、判断まで、最高水準のケア演習に取り組んでいる。

(2) 国家試験対策

1年次には「理解度確認試験」を、2年次には「低学年模試」を実施し、自己の課題を明らかにしている。3年次から国家試験対策を本格的にスタートさせ、4年次には、模擬試験を実施。集中対策講座を実施し、出願基準の変更点や模試の内容確認等の補講も実施する。

(3) 基礎演習（ラーニングスキルズ）を開講

1年次生が大学の学習に慣れ、4年間の大学生活を有意義に送るための基礎を習得することを目的とする「基礎演習」を開講している。大学での学習を進める上で必要となる基礎的な知識や技能、学ぶ姿勢を身につけることを目標とする。具体的には、講義ノートの取り方、文献資料の検索、学術的な文章の読み方、グループワークの進め方などについて、ゼミ形式の演習を通じて学習する。

(4) 臨地実習

臨地実習を通して患者理解と実践能力を高める。1. 2年次には基礎看護学実習、3年次後期からは、領域実習を配置し、学生は、疾病を抱える人はもちろん、高齢者、病児、妊産婦など様々な患者と接していく中で、看護師としての支援を認識し、コミュニケーション能力や判断力など、現場で生きる看護力を養う。

(5) 国際看護研修

グローバルな視点で保健医療活動を行う基礎を養うことを目的としている。実際に赴き、現地の大学などで研修や医療現場を見学する中で、医療の現場を体感する。20時間の海外研修により、他国の看護教育、保健医療システム、エイズなどの感染症対策について学び、国際的視点から保健医療活動の実際を知る。

(6) 課程選択

「看護師課程」選択においては、看護の知識や技術をしっかり身に付けたうえで、国際理解に関する科目を履修することができ、国際的な視野に立って社会に貢献できる質の高い看護師を目指している。

「看護師・保健師課程」においては、20人が看護師に加えて保健師資格取得をめざし、さらに養護教諭二種免許状の取得も可能となっている。

「看護師・助産師課程」においては、女性のみ10人という少数精鋭で、確かな技術と知識だけでなく、妊産婦の心に寄り添える人間力を磨き、広い心を育むことを目的としている。

これらの課程の選択については、2年次終了時に学生に希望を聴取し、選考試験を実施する。選考試験には、面接を含み、学生本人の意思が明確であることを確認する。

(7) GPA (Grade Point Average)の活用

本学では成績評価に加えて、GPA (Grade Point Average)を導入し、単位の修得だけでなく、質を重視することにより、学生が自主的・意欲的に学修し、自分の学修成果を正確に把握して、計画的な履修ができるようにしている。また、保健師課程、助産師課程の履修希望者選考基準の1つとしている。卒業時にはGPAの成績優秀者に対して、表彰を行う制度（「奈良学園大学学生表彰制度」）を整備しており、学長から表彰し、賞状と副賞を授与している。

【保健医療学部リハビリテーション学科】

<教育目標>

日々変化する医療・社会情勢を的確にとらえ、科学的根拠に基づいた知識と技術を修得するとともに、多様化する個人・家族・社会のニーズに柔軟に対応して、地域において問題解決能力と実践力を発揮できる人材の養成を目標とする。

<ポリシー>

(1) アドミッションポリシー

- ①入学後の修学に必要な高校卒業相当の基礎学力を有している。【知識・理解】
- ②他者とのコミュニケーション能力をもち、仲間と協働した行動ができる。【態度】
- ③保健・医療に対して強く関心を持ち、理学療法士や作業療法士への志向を強く持っている。【関心・意欲】
- ④自分の意見をしっかり持ち、それを表現し、相手へ的確に伝えることができる。【技能・表現】
- ⑤問題や課題を論理的な思考に基づき理解できる。【思考・判断】

(2) カリキュラムポリシー

- ①豊かな人間性、論理的な思考力、的確な判断能力を身に付ける教育。
- ②自然や文化を大切にし、倫理性、社会性、国際的感覚を身に付ける教育。
- ③主体的な体験や討論を通して自己の考えを確立し、それを豊かに表現する能力を身に付ける教育。
- ④リハビリテーション医療職に必要な知識・技術、情報活用能力、コミュニケーション能力を身に付ける教育。
- ⑤全人的な健康観に立ち、科学的、客観的な根拠及び人間の主観性と対話に基いた創造的な全人的ケアができる能力を身に付ける教育。
- ⑥リハビリテーション医療職として協働性を培い、社会のニーズや多様な変化に対応し、他職種と連携してチームで活動できる汎用的能力を身に付ける教育。

(3) ディプロマポリシー

- ①人間愛に基づき「人」を中心に捉えた全人的ケアのできる専門的知識・技術・態度の修得。
リハビリテーションとは、単に身体機能の回復をめざすものではなく、人間としての尊厳ある生き方の回復を支援することである。その役割を果たす理学療法士・作業療法士となるためには、人間愛に基づいた自尊心と他者の理解と思いやりを育み、全人的ケアの素養をもった人材を育成する。
- ②個別的で多様な保健医療ニーズを把握できる情報収集・問題解決能力の修得。
今後も超高齢社会の進展による医療・介護制度の変化や医療技術の高度化複雑化の中で、主体的に保健医療ニーズを把握するための情報収集を行い、対象者の個別的な問題解決に取り組む能力をもった人材を育成する。
- ③多職種間と連携・協働し、主体的にチーム医療や地域包括ケアに参加できる倫理観と責任感の修得。
高度化複雑化する医療や地域包括ケアの現場では、各関連専門職の専門性と独自性のある業務があり、多職種間相互の連携と協働作業が求められるため、それぞれの役割を理解し、倫理観と責任感をもってチーム医療と地域包

括ケアの中で貢献できる人材を育成する。

④知識・技術を高め、社会の変化に強い関心を持ち、多様な視点を持てる探求心と研究心の修得。

社会の変化により刻々と変化する保健医療ニーズに対応できる知識と技術を高め続けようと研鑽する意欲を維持し、リハビリテーションに関する問題や新しい知見に対して主体的に探究し、研究に取り組む態度をもった人材を育成する。

保健医療学部リハビリテーション学科では、今後ますます多様化、高度化、複雑化する保健医療ニーズに個別的に対応するために、人間を統合的、調和的に捉え全人的ケアの提供ができる人材の養成を目標とする。また、深い慈悲の心や奉仕の精神、豊かな知性と人間性、医療人としての高い職業的倫理観を備え、地域包括ケアが進行する医療現場で、病院と地域における多職種との協働によるチームの中で活躍できる質の高い理学療法士と作業療法士を養成することを目的としている。

(1) 担任制と個別指導

各学年に専任教員の担任を置き、担任は8名程度の学生を2年次まで受け持ち個別の履修指導を行う。また、学習、学生生活、課外活動、進路等についても支援を行い3年次に就職などを視野に入れ担任を再編成する。担任は定期的に会議を開催し、情報の共有や意見交換等を行い、必要に応じて問題提起や情報交換を行う等学生の主体的な学習環境や生活環境の向上に努める。

(2) 国家試験対策

本学科では、国家試験対策eラーニングシステム「スマコク」を導入し、学内だけでなく学外であっても自分のスマホで過去問題を解くトレーニングが可能となっている。本システムは、学生がどの程度このシステムを使っているか、あるいは正答率なども教員が管理できるため、学生の学習状況や知識の弱点も把握し、学生へフィードバックできることで国家試験対策を充実させる。

(3) 基礎ゼミ（ラーニングスキルズ）を開講

共通教育科目の導入基礎として、1年次に「基礎ゼミⅠ」と「基礎ゼミⅡ」といった科目を必修科目として配置し、大学におけるラーニングスキルズと自己の考えを整理し発現する能力を養うことにより、4年間の主体的な学びの基盤と大学におけるさまざまな体験と討論の場における主体的な参加を促す。また、少人数制で本学科の専任教員との距離が近いゼミナール形式をとることで、理学療法学と作業療法学という専門教育を受けることの意義や魅力を学生自ら見出す能力を引き出すとともに、学生同士による主体的な議論を通じて保健医療などの問題の所在と解決策を見出し、実践し、成果を発表するプロセスを体験させる。

(4) 学外実習の計画的配置

1年次前期に実施する早期体験実習（理学療法・作業療法）は、初めての臨床現場の見学を通して理学療法士・作業療法士の役割や対象を把握することと、専門職や社会人としてのマナーに基づいた行動の修得を目標としている。2年次に実施する地域理学療法および地域作業療法実習は、介護老人保健施設やデイケアサービスといった「地域リハビリテーション」の現場見学を通じて、介護保健領域におけるリハビリテーション専門職の役割を理解することを目標として実施する。

理学療法学専攻における3年次以降の実習は、理学療法評価実習、総合臨床実習Ⅰ（理学療法）、総合臨床実習Ⅱ（理学療法）で構成される。理学療法評価実習では学内の講義・演習で学んだ各種の評価法を対象者に適応させ、結果の記載方法等を実際に体験的に学ぶ。4年次の総合臨床実習Ⅰ（理学療法）、総合臨床実習Ⅱ（理学療法）では評価から治療実践までを行い、学内教育で得た理学療法の知識・技術を統合し、リハビリテーション医療の専門職に求められる適切な行動・態度、責任感を身につける機会とする。

一方、作業療法学専攻における3年次以降の実習は、検査・測定実習、作業療法評価実習、総合臨床実習Ⅰ（作業療法）、総合臨床実習Ⅱ（作業療法）の4つで構成される。3年次の検査・測定実習では、対象者への基礎的な検査・測定の手順を体験し、担当する対象者の多様な病態や障害を認識し、作業療法に関わる専門知識と技法の重要性を理解する。同じく3年次の作業療法評価学実習では学内の講義・演習で学んだ各種の評価法を対象者に適応させ、結果の記載方法等を実際に体験的に学ぶ。そして4年次の総合臨床実習Ⅰ（作業療法）、総合臨床実習Ⅱ（作業療法）では、対象者の疾患・病期・病態像に応じた評価、治療計画を立案し、治療・介入の実践を通してリハビリテーションチームの一員としての役割を学ぶ。また総合臨床実習Ⅱ（作業療法）では、総合臨床実習Ⅰ（作業療法）と異なる専門領域での作業療法実践を経験し、作業療法の共通性と相違性への理解を深める。

(5) 教育環境の充実

実習室は1階に運動学習実習室、運動療法実習室、義肢装具実習室を、2階に基礎医学実習室、運動生理実習室、水治療実習室、物理療法実習室、金工・木工・陶工実習室、多機能実習室、ADL実習室、5階にレクリエーション実習室とリハビリコモンルームの合計12室を整備し、各実習室には3次元動作解析装置や筋機能解析装置など最新の検査測定装置や治療器具を設置している。また、44人収容の教室4室、90人収容の教室2室、160人収容の教室1室、演習室10室を整備するなど教育環境を充実させている。

(7) GPA (Grade Point Average)の活用

本学では成績評価に加えて、GPA (Grade Point Average)を導入し、単位の修得だけでなく、質を重視することにより、学生が自主的・意欲的に学修し、自分の学修成果を正確に把握して、計画的な履修ができるようにしている。卒業時にはGPAの成績優秀者に対して、表彰を行う制度（「奈良学園大学学生表彰制度」）を整備しており、学長から表彰し、賞状と副賞を授与している。

【大学院看護学研究科看護学専攻】

(大学院の目的)

奈良学園大学大学院は、教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、奈良学園大学の建学の精神と教育理念に則り、学部における一般的・専門的教養の基礎の上に、高度にして専門的な学術の理論とその応用を教授・研究し、または高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識と卓越した能力を培い、もって社会の発展及び文化の進展に寄与することを目的とする。

<ポリシー>

(1) カリキュラムポリシー

- ①看護学分野における高度な看護実践能力と教育研究能力を有する人材を育成するための教育課程を編成する。
- ②高度な看護実践能力と教育、研究の基盤となる専門的知識と学際性を備え、また、高い倫理観と国際性を養うため、基盤科目及び専門科目に区分した体系的な教育課程を編成する。
- ③基盤科目では、専門の学習の深化と発展につながる基礎的理論及び研究技法又は国際的視野に立脚した最新の知識と科学的根拠に基づいた理論の教授に重点を置いた講義、演習を行う。
- ④専門科目、研究科目として、講義、演習及び特別研究・課題研究を通し、高度な専門的能力を養成する科目を設置する。なお、CNSを履修するコースには資格認定のための必要な科目を設置する。
- ⑤主指導教員と副指導教員による複数の教員指導体制のもと、高度な看護実践に貢献できる論文又は課題研究の研究指導を行う。

(2) ディプロマポリシー

- ①各専門分野における諸理論に精通し、臨床現場で生じている課題を科学的、論理的に解決する方法を修得し、質の高い看護実践力を有している。
- ②臨床で生じている課題について、研究手法を用いて科学的に探究できる能力を有している。
- ③各専門分野において、臨床での看護実践を教育するための知識を有している。
- ④高い倫理観をもち、臨床で生じる倫理的問題に対して、適切に判断し、調整する方法を見出す力を有している。
- ⑤看護実践及び教育、研究について、国際的視野をもち、保健医療チームにおけるリーダーとして、他のメンバーを尊重し、協働や連携を促進できるマネジメント力を有している。

(看護学研究科の目的)

教育理念に基づき、在宅看護、育成看護、精神看護分野における専門性を深め、国内外で活躍することができる高度な看護実践者と看護の各分野における実践的教育の担い手及び研究者を育成することを目的とする。

(教育研究上の目標)

- ・地域医療を支える質の高い看護実践者の育成
- ・最新の看護学教育を実践する教育者の育成

- ・臨床から地域を包括する視野をもつ研究者の育成

(1) CNS を履修するコース（精神看護専攻教育課程）

地域のニーズに応え、かつ、設置理念にある高い専門性と総合的な視野をもち、独創性・指導性を発揮できる人材を育成し、種々の社会的要請に応えるため、本大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）に、「精神看護学の修士論文コースとCNSを履修するコース」を設置している。

精神科CNSが、看護師だけでなく、多職種専門家のコンサルテーション、倫理調整、住民も含めた教育、そして研究活動を実践することが、奈良県の住民の精神保健に寄与し、安心して暮らせる地域社会の形成を促進する力になると考える。

(2) 教育課程の編成

本研究科は、看護実践に根ざした看護学研究の推進及び近年急速に変化・深化しつつある看護実践現場の質向上に繋がる質の高い高度な看護実践を支える教育・研究者及び指導者の養成を目指した教育課程を編成している。

教育課程は「基盤科目」「専門科目」「研究科目」から構成する。

「基盤科目」においては専門科目の基礎として、専門の学習への進化と発展に繋がる関連諸科学の理論や技法を学ぶ。関連諸科学の理論や技法を学び、専門科目の基盤として、看護学に関する専門的知識・技術を修得し、国際感覚を身に付け、変化する社会に対し高いヒューマンケアの実践能力、専門知識と技術を備えた指導・調整能力を養うことができる科目を配置している。具体的には、高い倫理観を育て社会変化に対応できる深い洞察力をもち、実践現場指導者との協働能力を高めるため、「国際医療特論」「国際看護特論」「看護倫理特論」「コンサルテーション論」「看護教育学特論」を配置する。さらに、看護学に関する成果を進化・発展させ社会の人々のニーズに応えることができる能力を育てるため、「ヘルスプロモーション特論」「看護理論特論」「看護管理学特論」「臨床薬理学」「病態生理学」「フィジカルアセスメント」「看護研究特論」を配置する。また、国内外の国外で活躍する人材養成について、コミュニケーションとしての英語力や海外の専門的知識が必要であることから、特に「国際医療特論」「国際看護特論」を配置し、将来海外で看護師、看護研究者として活躍する人材養成をおこない、加えて、現在奈良県に在住している外国人や外国人観光客の心身の健康を維持し、必要なサービスを提供する人材を育成する。

「専門科目」は「在宅看護学」「育成看護学」「精神看護学」の3分野で編成し、講義科目及び演習科目を系統的に履修し、看護学の視点から保健医療の発展に必要な課題を探索し、その課題に対して主体的に研究計画の立案、調査、実験、分析ができる能力を身に付けるためのコースワークを整備している。

在宅看護学分野は、老年看護学を基盤に在宅看護と訪問看護及び慢性期看護の分野を統合し、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的とする地域包括ケアにおける看護について探究する分野とする。

育成看護学分野は、母性・女性看護学と小児看護学の分野を統合し、親になる準備段階にある思春期から周産期、子育て期、そして生まれてきた子どもの小児期の看護について探究する分野とする。

精神看護学分野は、入院精神医療と地域精神医療の場で国際的視野と高い倫理観を備えて高度な看護実践を提供し、併せて、看護職者や多職種のコンサルテーション、組織のマネジメント、教育、研究、精神医療の場で生じる倫理的な課題をトラウマインフォームドケアの視点で解決する能力を修得する分野とする。

各分野に関連する基礎的要素を修得し、看護学の視点から保健医療の発展に必要な課題を探索し、その課題に対して主体的に研究計画の立案と調査・実験、そして分析ができる能力を身に付けることができるよう編成する。

基盤科目を基礎として、学生がいずれかの分野で研究と実践に必要な理論と技術、実践力を修得するため、分野ごとに演習及び特論演習を設ける。演習科目では、国内外の文献検索と文献クリティーク、グループワーク等により諸外国を含めた各専門分野の実践における現状の理解と課題の発見、探究を行う。これらを体系的に学習することにより、学生は各専門分野及び関連の深い周辺の学問領域の実践について熟知し、専門分野における課題の発見、研究計画の立案と実施、そして結果の分析能力を修得する。なお、実習科目はそれぞれの課題解決に向けて臨地での実習を行う。

「研究科目」は、将来質の高い高度な看護実践を支える教育・研究者及び指導者を目指す者のために配置し、「特別研究」は、文献レビューやフィールドに出ながら、当該領域・分野における重要な課題を明らかにし、各自で探究すべき課題を選定する。

当該専門分野における重要な課題を探究し、新しい知見を導き出し、研究論文を作成し発表することにより、各専

門分野の発展に資する研究を实践する。

「課題研究」は、CNS必修科目及び共通選択科目の学習を元に、CNSを履修するコースで定めた履修科目等で学習した内容から、看護実践の中で生じる課題を抽出し、精神科CNSとして必要な実践能力に焦点を当てて実証的に研究を行う科目として配置した。学習内容の中から、精神科CNSの実践の中で生じる課題を抽出し、研究テーマにふさわしい知見を得て、リサーチペーパーとしてまとめる。

(3) 大学院設置基準第14条による教育方法の特例等の実施

社会人のキャリア教育及び生涯学習ニーズに応え、仕事を持つ社会人の学生（以下、「社会人学生」という。）などが勤務を継続しながら、大学院で学修することができる環境を提供するため、本学研究科において大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を実施する。

昼夜開講制を導入して、看護の臨床経験がある有識者等を含めた多様な学生が互いに研鑽し合う環境を設けることにより、本研究科の設置趣旨の実現に努める。

具体的には、社会人に広く門戸を開放するために、履修者の科目選択の自由度を高め、授業時間を月曜日から金曜日の夜間、及び土曜日の昼夜に開講するいわゆる昼夜開講制を採用する。

大学院生が利用する研究室や演習室の利用については、平日7時30分から21時30分まで利用が可能となるよう対応している。また、社会人入学生が無理なく受講できるように夜間の授業（6時限 18:00～19:30、7時限 19:40～21:10）を開講し、夏期・冬期休暇中にも集中講義を行い、教育・研究指導を受けることなどにも対応する。

また、現有職者が現在の職と修学を時間的に無理なく両立できるよう、修業年限2年の他に、3年の長期履修制度も導入している。

【大学院看護学研究科看護学専攻】

看護実践に根ざした看護学研究の推進及び近年急速に変化・深化しつつある看護実践現場の質向上に繋がる質の高い高度な看護実践を支える教育・研究者及び指導者の養成を目指した教育課程を編成する。

教育理念に基づき、在宅看護、育成看護、精神看護分野における専門性を深め、国内外で活躍することができる高度な看護実践者と看護の各分野における実践的教育の担い手及び研究者を育成することを目的とする。

<ポリシー>

(1) カリキュラムポリシー

- ①看護学分野における高度な看護実践能力と教育研究能力を有する人材を育成するための教育課程を編成する。
- ②高度な看護実践能力と教育、研究の基盤となる専門的知識と学際性を備え、また、高い倫理観と国際性を養うため、基盤科目及び専門科目に区分した体系的な教育課程を編成する。
- ③基盤科目では、専門的学習の深化と発展につながる基礎的理論及び研究技法又は国際的視野に立脚した最新の知識と科学的根拠に基づいた理論の教授に重点を置いた講義、演習を行う。
- ④専門科目、研究科目として、講義、演習及び特別研究・課題研究を通し、高度な専門的能力を養成する科目を設置する。なお、CNSを履修するコースには資格認定のための必要な科目を設置する。
- ⑤主指導教員と副指導教員による複数の教員指導体制のもと、高度な看護実践に貢献できる論文又は課題研究の研究指導を行う。

(2) ディプロマポリシー

- ①各専門分野における諸理論に精通し、臨床現場で生じている課題を科学的、論理的に解決する方法を修得し、質の高い看護実践力を有している。
- ②臨床で生じている課題について、研究手法を用いて科学的に探究できる能力を有している。
- ③各専門分野において、臨床での看護実践を教育するための知識を有している。
- ④高い倫理観をもち、臨床で生じる倫理的問題に対して、適切に判断し、調整する方法を見出す力を有している。
- ⑤看護実践及び教育、研究について、国際的視野をもち、保健医療チームにおけるリーダーとして、他のメンバーを尊重し、協働や連携を促進できるマネジメント力を有している。

(1) CNSを履修するコース（精神看護専攻教育課程）

地域のニーズに応え、かつ、設置理念にある高い専門性と総合的な視野をもち、独創性・指導性を発揮できる人材を育成し、種々の社会的要請に応えるため、本大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）に、「精神看護学の修士論

文コースとCNSを履修するコース」を設置している。

精神科CNSが、看護師だけでなく、多職種専門家のコンサルテーション、倫理調整、住民も含めた教育、そして研究活動を実践することが、奈良県の住民の精神保健に寄与し、安心して暮らせる地域社会の形成を促進する力になると考える。

(2) 教育課程の編成

本研究科は、看護実践に根ざした看護学研究の推進及び近年急速に変化・深化しつつある看護実践現場の質向上に繋がる質の高い高度な看護実践を支える教育・研究者及び指導者の養成を目指した教育課程を編成している。

教育課程は「基盤科目」「専門科目」「研究科目」から構成する。

「基盤科目」においては専門科目の基礎として、専門の学習への進化と発展に繋がる関連諸科学の理論や技法を学ぶ。関連諸科学の理論や技法を学び、専門科目の基盤として、看護学に関する専門的知識・技術を修得し、国際感覚を身に付け、変化する社会に対し高いヒューマンケアの実践能力、専門知識と技術を備えた指導・調整能力を養うことができる科目を配置している。具体的には、高い倫理観を育て社会変化に対応できる深い洞察力をもち、実践現場指導者との協働能力を高めるため、「国際医療特論」「国際看護特論」「看護倫理特論」「コンサルテーション論」「看護教育学特論」を配置する。さらに、看護学に関する成果を進化・発展させ社会の人々のニーズに応えることができる能力を育てるため、「ヘルスプロモーション特論」「看護理論特論」「看護管理学特論」「臨床薬理学」「病態生理学」「フィジカルアセスメント」「看護研究特論」を配置する。また、国内外の国外で活躍する人材養成について、コミュニケーションとしての英語力や海外の専門的知識が必要であることから、特に「国際医療特論」「国際看護特論」を配置し、将来海外で看護師、看護研究者として活躍する人材養成をおこない、加えて、現在奈良県に在住している外国人や外国人観光客の心身の健康を維持し、必要なサービスを提供する人材を育成する。

「専門科目」は「在宅看護学」「育成看護学」「精神看護学」の3分野で編成し、講義科目及び演習科目を系統的に履修し、看護学の視点から保健医療の発展に必要な課題を探索し、その課題に対して主体的に研究計画の立案、調査、実験、分析ができる能力を身に付けるためのコースワークを整備している。

在宅看護学分野は、老年看護学を基盤に在宅看護と訪問看護及び慢性期看護の分野を統合し、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的とする地域包括ケアにおける看護について探究する分野とする。

育成看護学分野は、母性・女性看護学と小児看護学の分野を統合し、親になる準備段階にある思春期から周産期、子育て期、そして生まれてきた子どもの小児期の看護について探究する分野とする。

精神看護学分野は、入院精神医療と地域精神医療の場で国際的視野と高い倫理観を備えて高度な看護実践を提供し、併せて、看護職者や多職種のコンサルテーション、組織のマネジメント、教育、研究、精神医療の場で生じる倫理的な課題をトラウマインフォームドケアの視点で解決する能力を修得する分野とする。

各分野に関連する基礎的要素を修得し、看護学の視点から保健医療の発展に必要な課題を探索し、その課題に対して主体的に研究計画の立案と調査・実験、そして分析ができる能力を身に付けることができるよう編成する。

基盤科目を基礎として、学生がいずれかの分野で研究と実践に必要な理論と技術、実践力を修得するため、分野ごとに演習及び特論演習を設ける。演習科目では、国内外の文献検索と文献クリティーク、グループワーク等により諸外国を含めた各専門分野の実践における現状の理解と課題の発見、探究を行う。これらを体系的に学習することにより、学生は各専門分野及び関連の深い周辺の学問領域の実践について熟知し、専門分野における課題の発見、研究計画の立案と実施、そして結果の分析能力を修得する。なお、実習科目はそれぞれの課題解決に向けて臨地での実習を行う。

「研究科目」は、将来質の高い高度な看護実践を支える教育・研究者及び指導者を目指す者のために配置し、「特別研究」は、文献レビューやフィールドに出ながら、当該領域・分野における重要な課題を明らかにし、各自で探究すべき課題を選定する。

当該専門分野における重要な課題を探究し、新しい知見を導き出し、研究論文を作成し発表することにより、各専門分野の発展に資する研究を実践する。

「課題研究」は、CNS必修科目及び共通選択科目の学習を元に、CNSを履修するコースで定めた履修科目等で学習した内容から、看護実践の中で生じる課題を抽出し、精神科CNSとして必要な実践能力に焦点を当てて実証的に研究を行う科目として配置した。学習内容の中から、精神科CNSの実践の中で生じる課題を抽出し、研究テーマにふさわしい知見を得て、リサーチペーパーとしてまとめる。

(3) 大学院設置基準第14条による教育方法の特例等の実施

社会人のキャリア教育及び生涯学習ニーズに応え、仕事を持つ社会人の学生（以下、「社会人学生」という。）などが勤務を継続しながら、大学院で学修することができる環境を提供するため、本学研究科において大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を実施する。

昼夜開講制を導入して、看護の臨床経験がある有識者等を含めた多様な学生が互いに研鑽し合う環境を設けることにより、本研究科の設置趣旨の実現に努める。

具体的には、社会人に広く門戸を開放するために、履修者の科目選択の自由度を高め、授業時間を月曜日から金曜日の夜間、及び土曜日の昼夜に開講するいわゆる昼夜開講制を採用する。

大学院生が利用する研究室や演習室の利用については、7時30分から21時30分まで利用が可能となるよう対応している。また、社会人入学生が無理なく受講できるように夜間の授業（6時限 18:00～19:30、7時限 19:40～21:10）を開講し、夏期・冬期休暇中にも集中講義を行い、教育・研究指導を受けることなどにも対応する。

また、現有職者が現在の職と修学を時間的に無理なく両立できるよう、修業年限2年の他に、3年の長期履修制度も導入している。